

# 東方 対戦 5

バトル

ロワイヤル

5



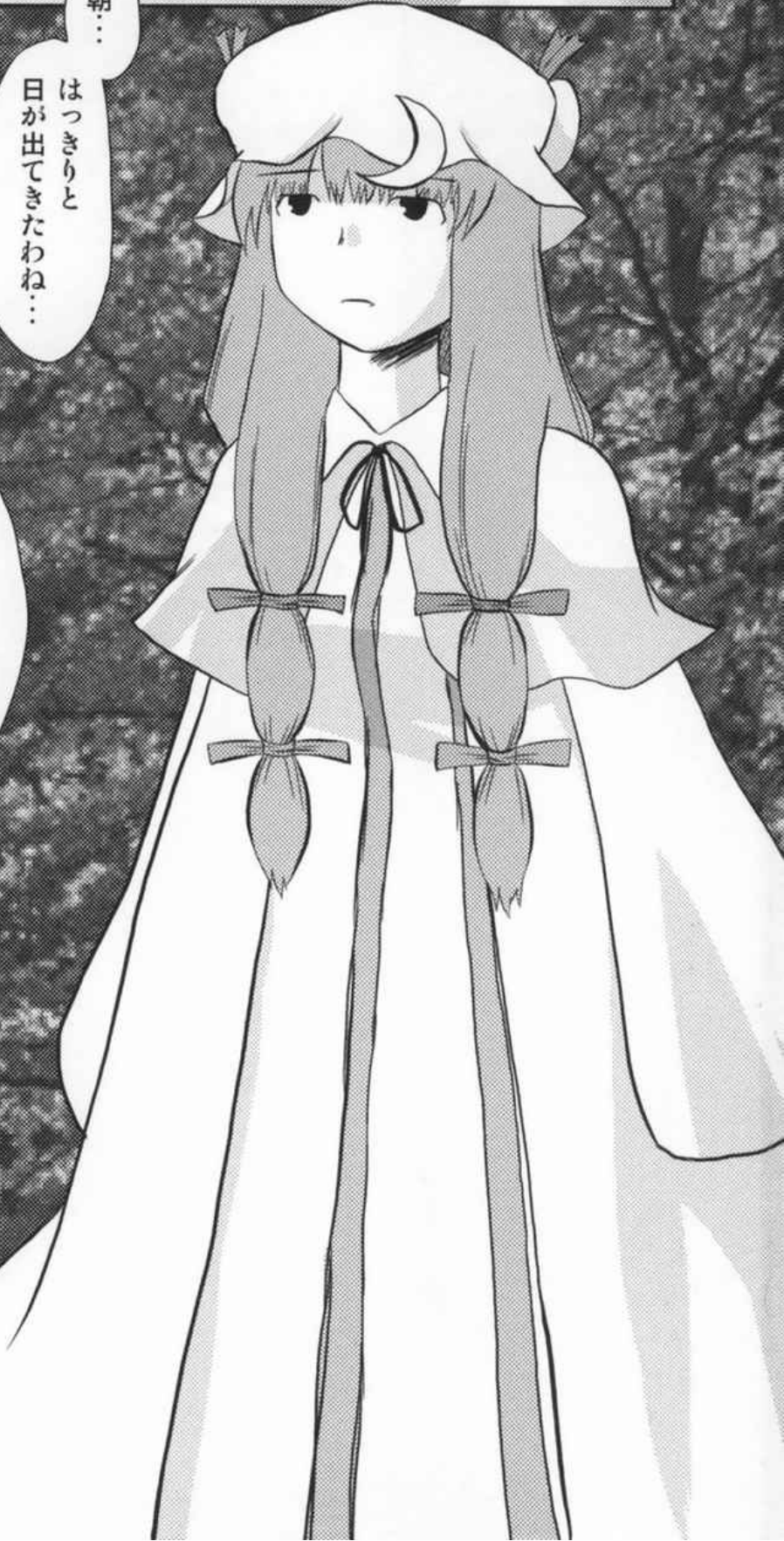


朝…

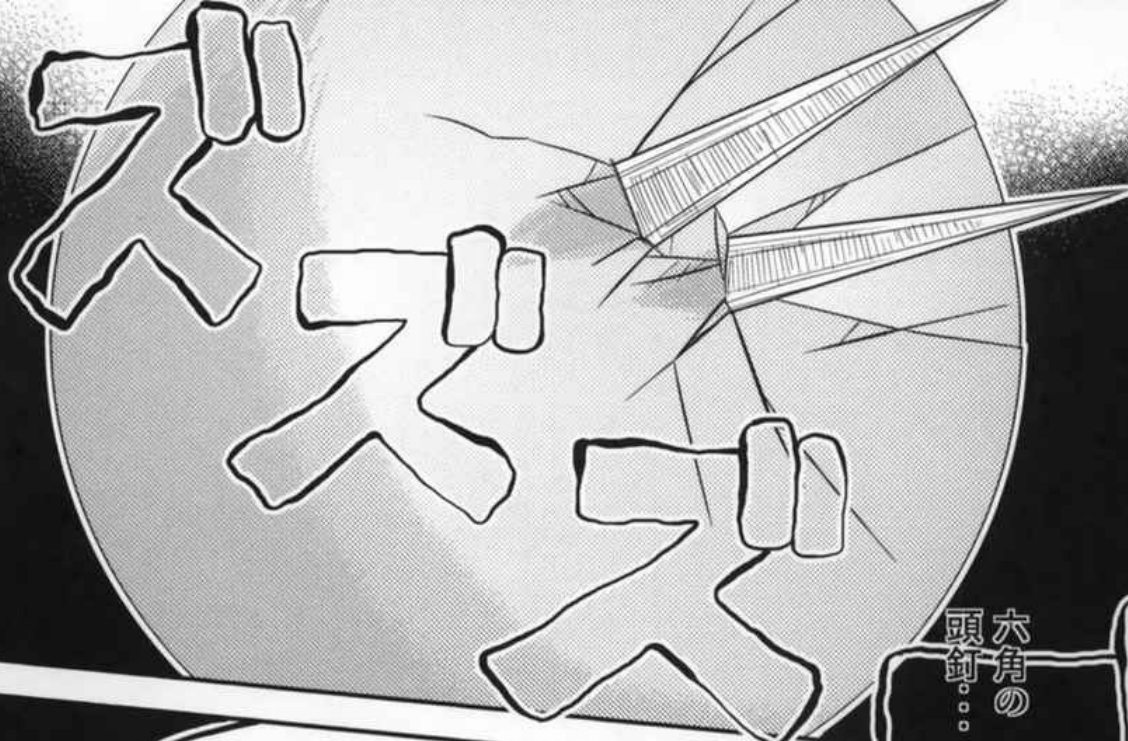
はつきりと  
日が出てきたわね…



これじゃあもう  
占星術はできない…



これは…



六角の  
頭釘…

東方の  
欠損…

右曲がりの刃…

来客と不意の  
危険の暗示…



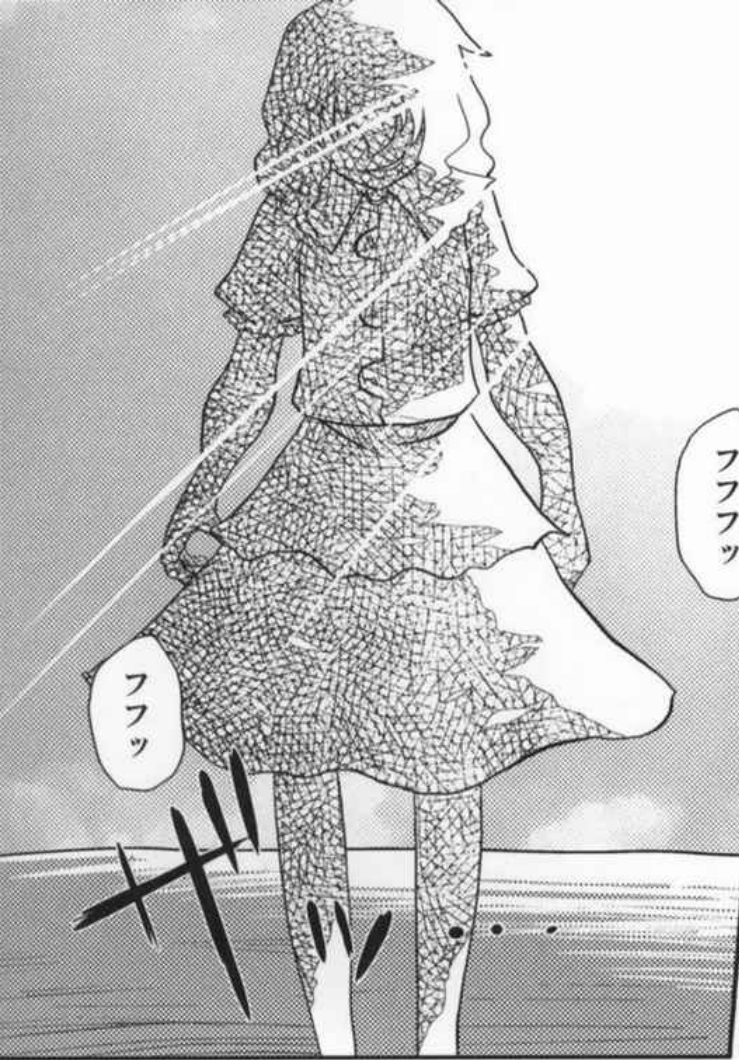
そして

この影は…









フフッ

フフッ



全く

どいっも  
こいっも



馬鹿な...



なめてくれる

怒りだ

私の怒りを畏れて  
日が私を焼く事が  
ままならんのだ

それよりも

何故

クン  
クン

クン  
クン

クン  
クン



ねえ？



フフッ

それはねえ



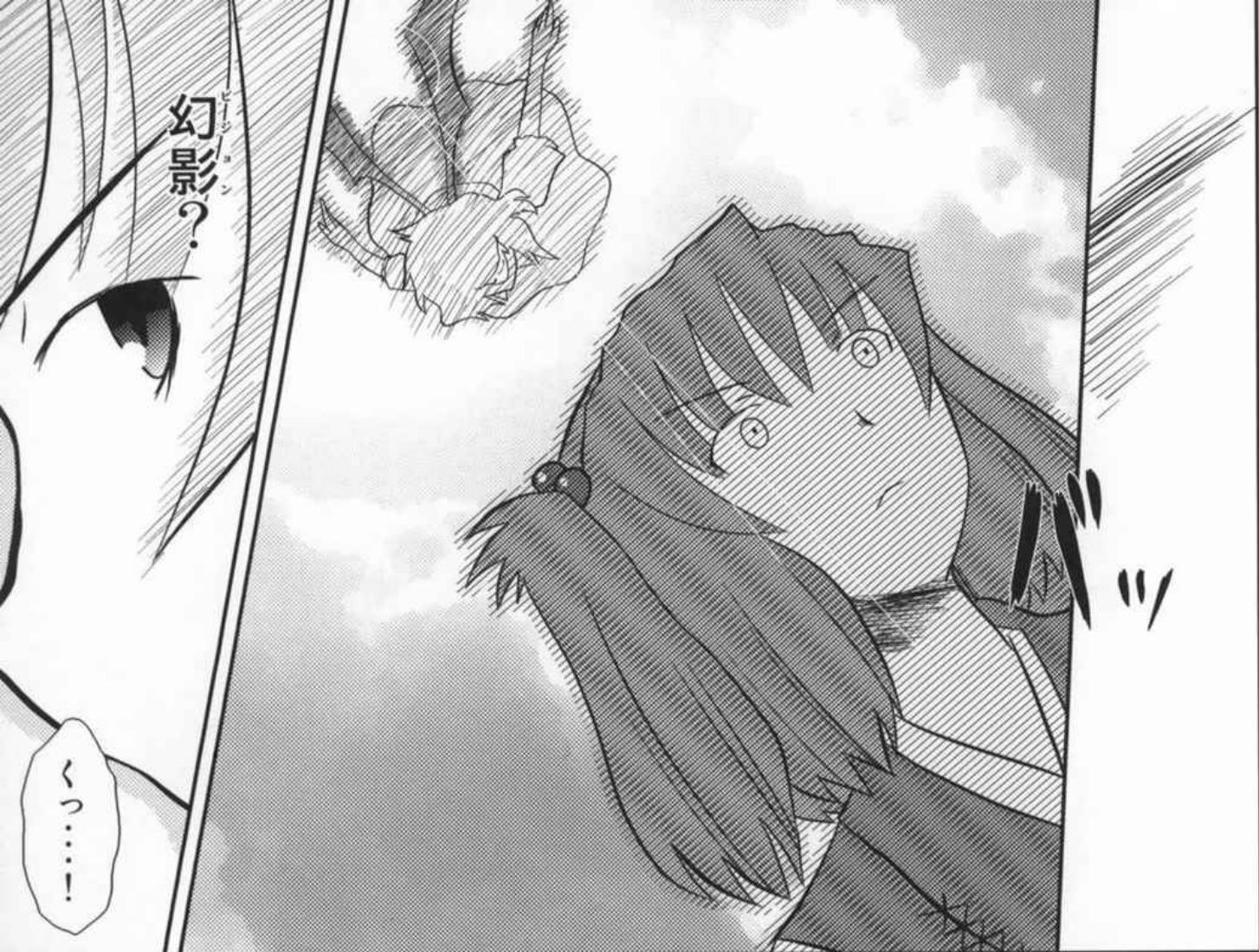
何故貴女から  
妹イモのおいがするのかしら……？





喰っちまったからさあ

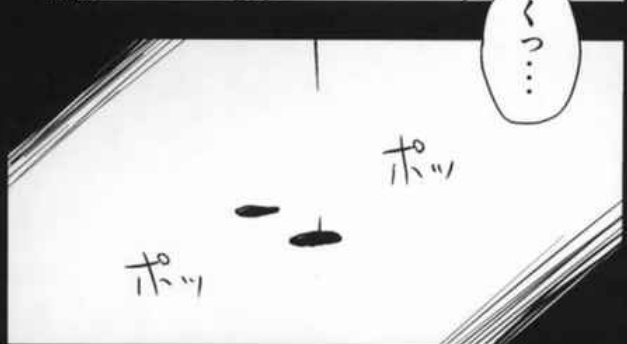
この鎌が





エイエイ

くっ...



ポッ

ポッ



ズド

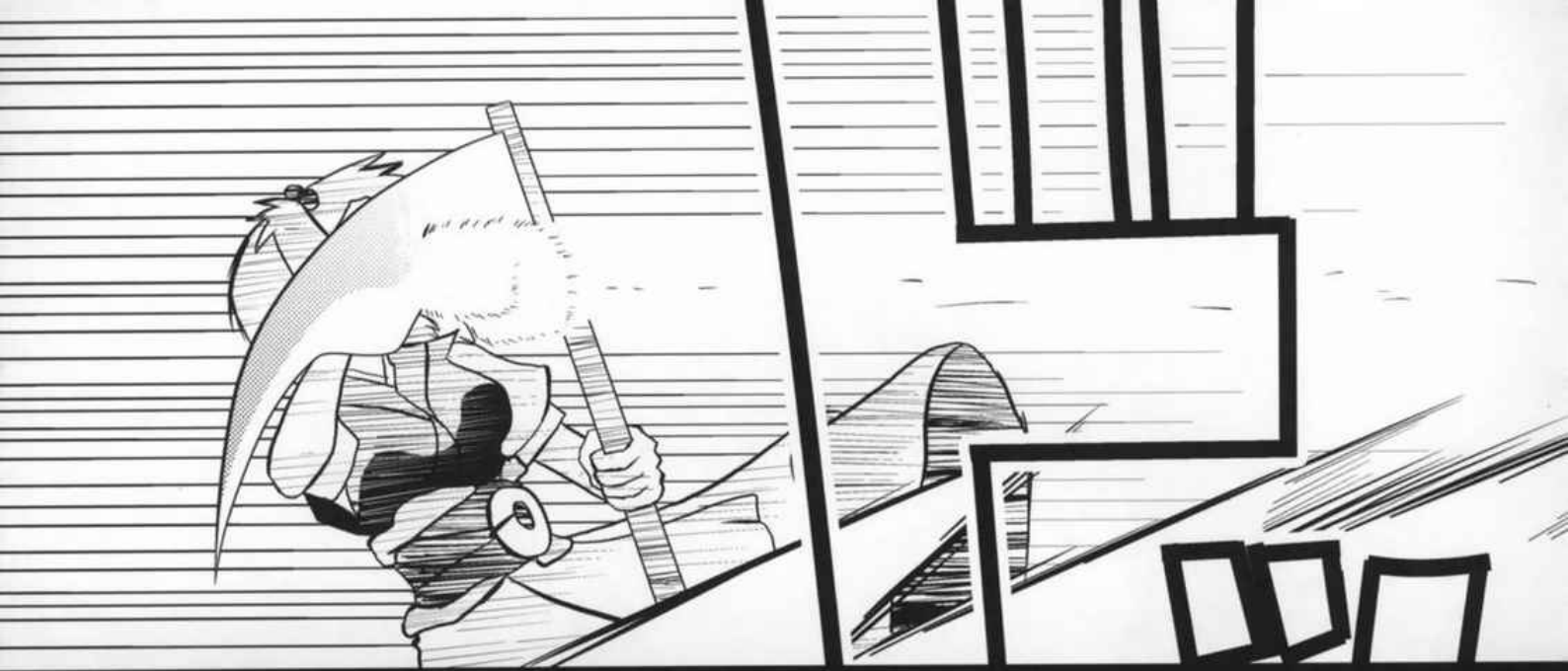


シヨウウウ

油断大敵、  
つてなわけには  
いかないか



ふふっ  
流石お姉さんだ



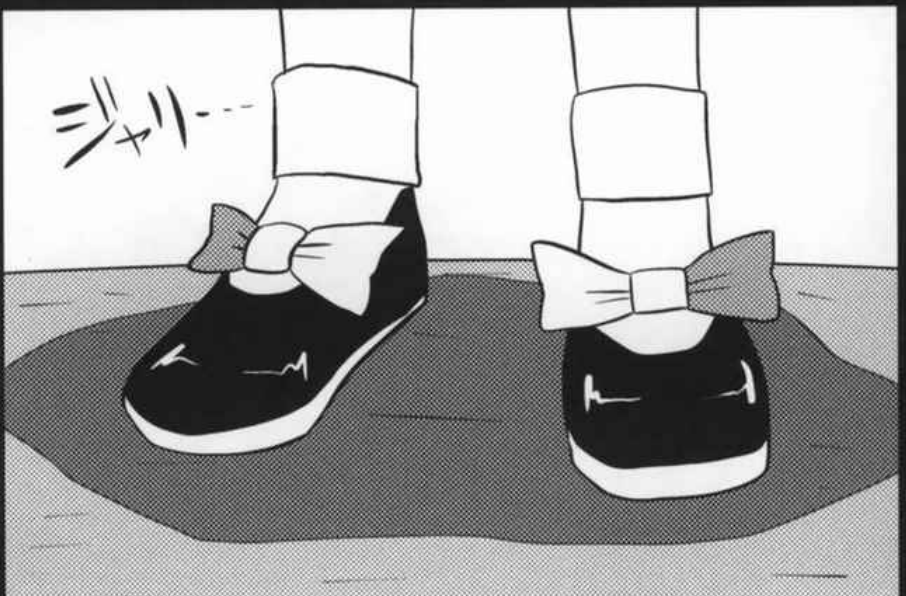
そんなもの

とつくに捨てたッ!!

フッ

油断だと?

あ…



貴方達  
何をしている  
のですか！

殺し合いなど  
馬鹿な事は  
止めなさい！

はあ？



おいおい

それは「読めてない」って  
レベルじゃない……



「はあ？」じゃありません！  
そんな短絡的な……

ククッ

咲夜ッ



畏まりました



ガキーンー



そう……ですか……




哀れな  
悪魔の操り人形

十六夜咲夜



今時間の境界に  
白黒つけました

もしあなたが  
違う時間軸へと  
移動した(時間を止める)なら




もう二度とこちら側へ  
帰ってくることは  
ままなりません

時空の狭間に取り残されて  
そのまま身動き一つ出来ずに  
生き続ける破目になります

時間に干渉できなければ  
消えることも空を飛ぶことも  
落ちたナイフを回収する事すら  
ままならない

そう



貴女は今

ようやく人間に  
なれたのです





そして今から

あなたの運命を狂わせた  
この元凶を滅ぼし

あなたに正しい人の生き方を  
説いてあげましょう

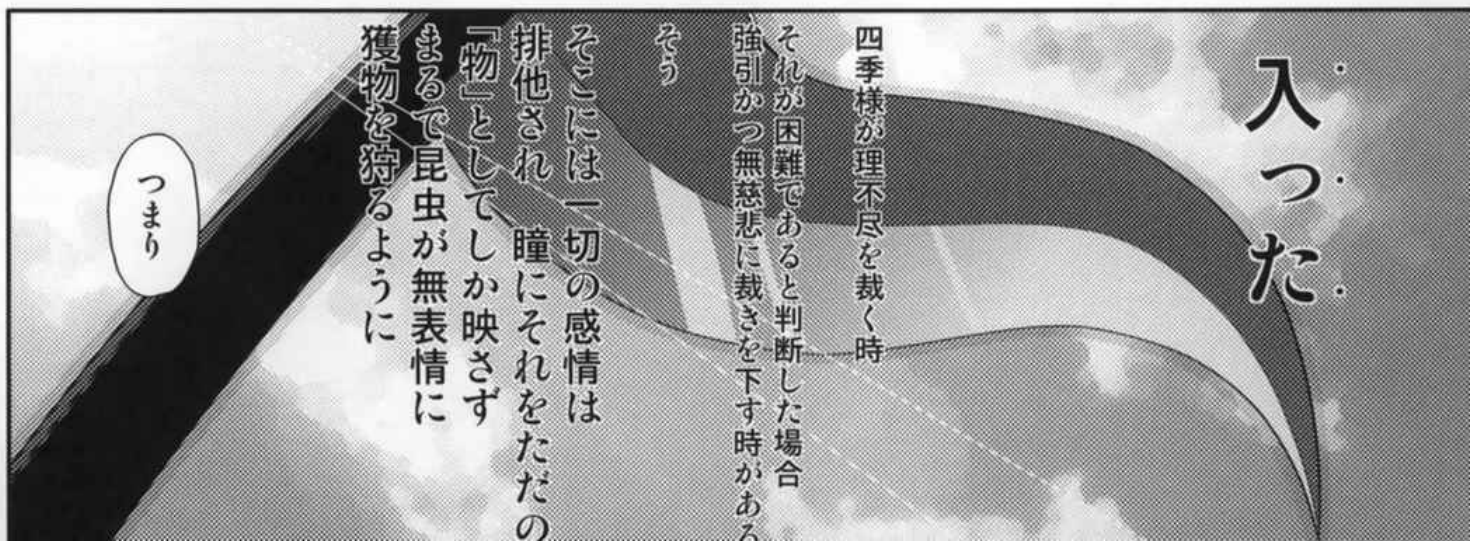


元凶ウ?

オイオイ  
大丈夫かお前の  
上司は?

…った

ああん?



入った。

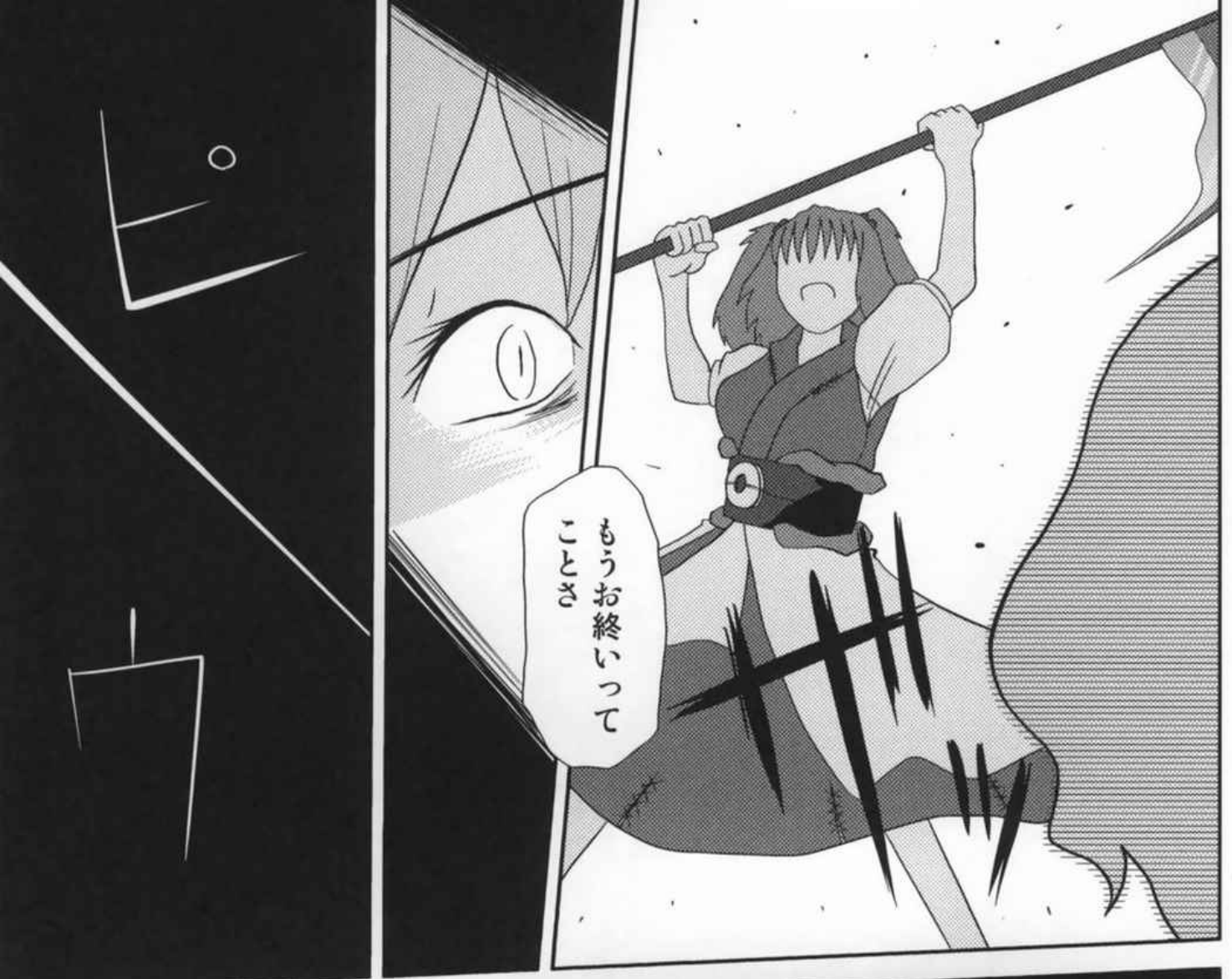
四季様が理不尽を裁く時

それが困難であると判断した場合  
強引かつ無慈悲に裁きを下す時がある

そう

そこには一切の感情は  
排他され 瞳にそれをただの  
「物」としてしか映さず  
まるで昆虫が無表情に  
獲物を狩るように

つまり

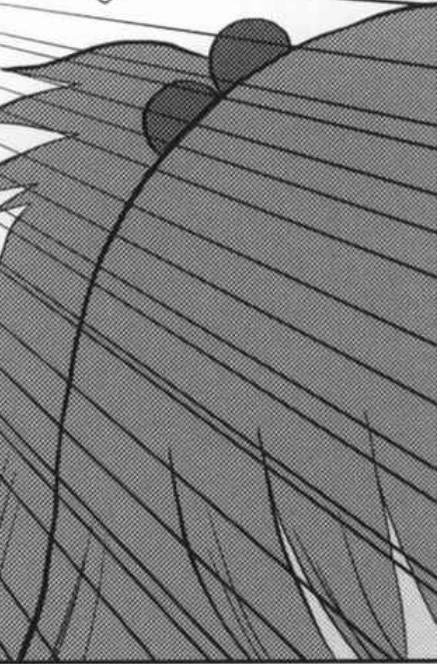




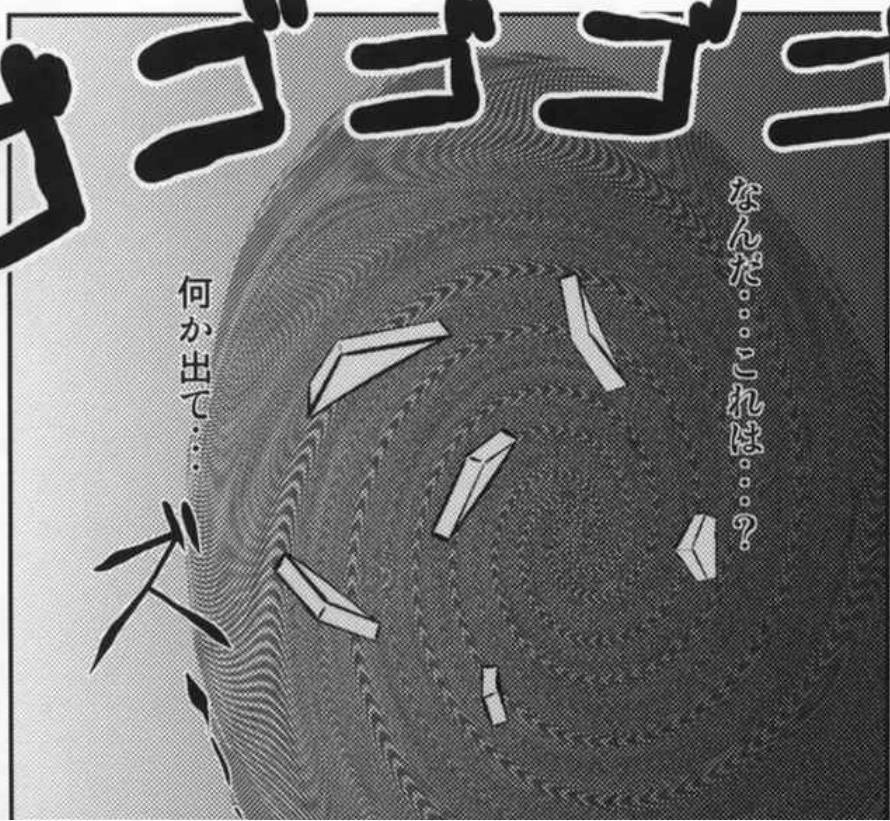
だから



油断は捨てたと  
言っただろうがッ!!

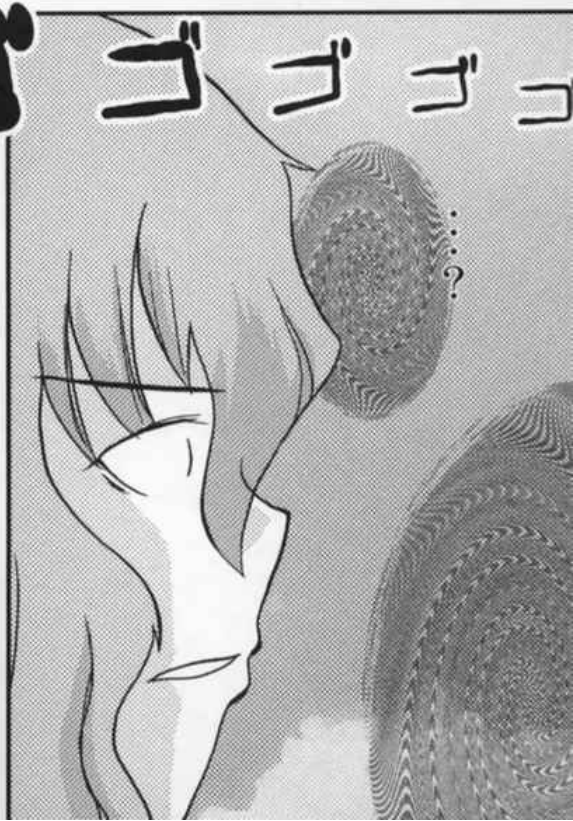


ゴゴゴゴゴゴゴゴ

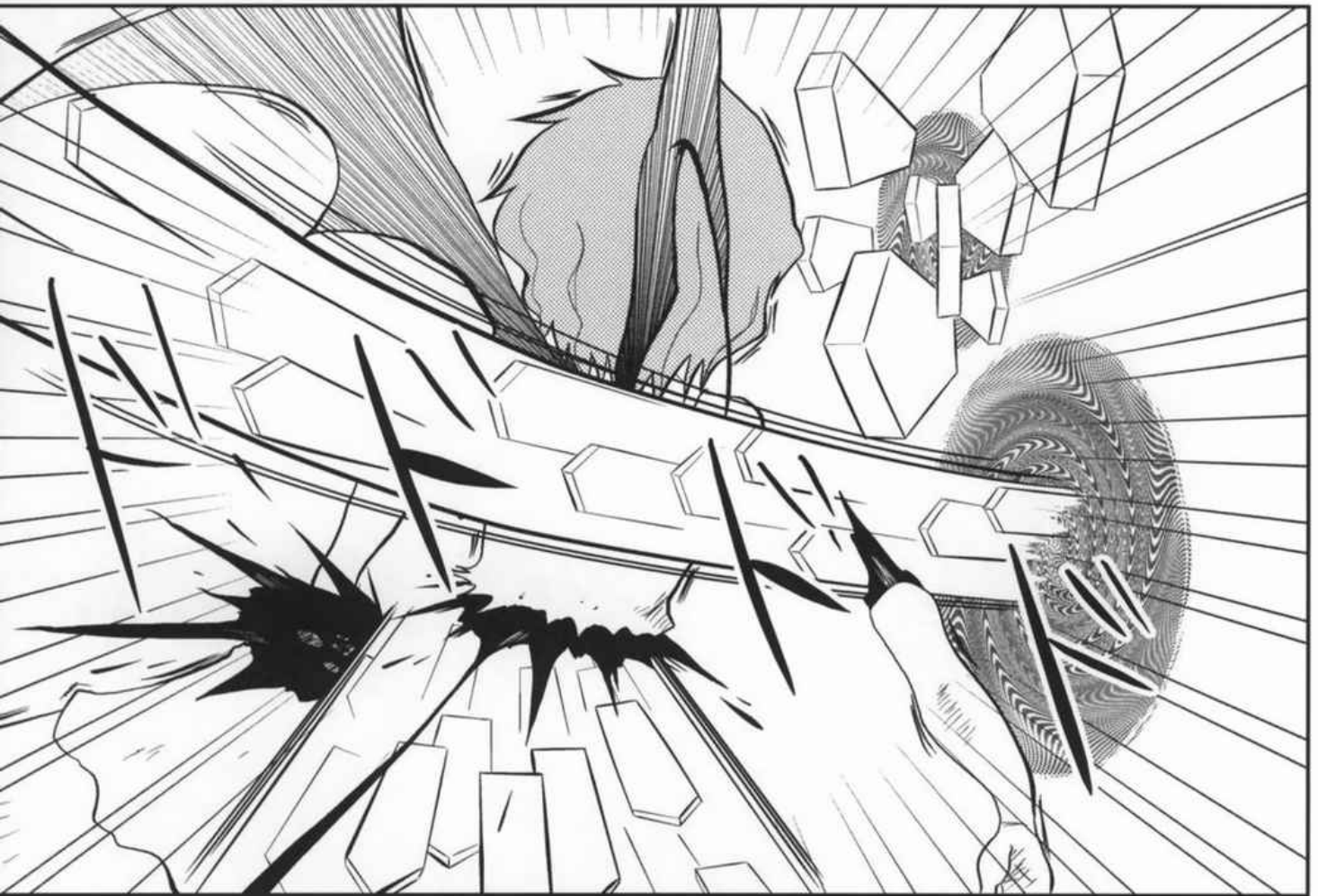


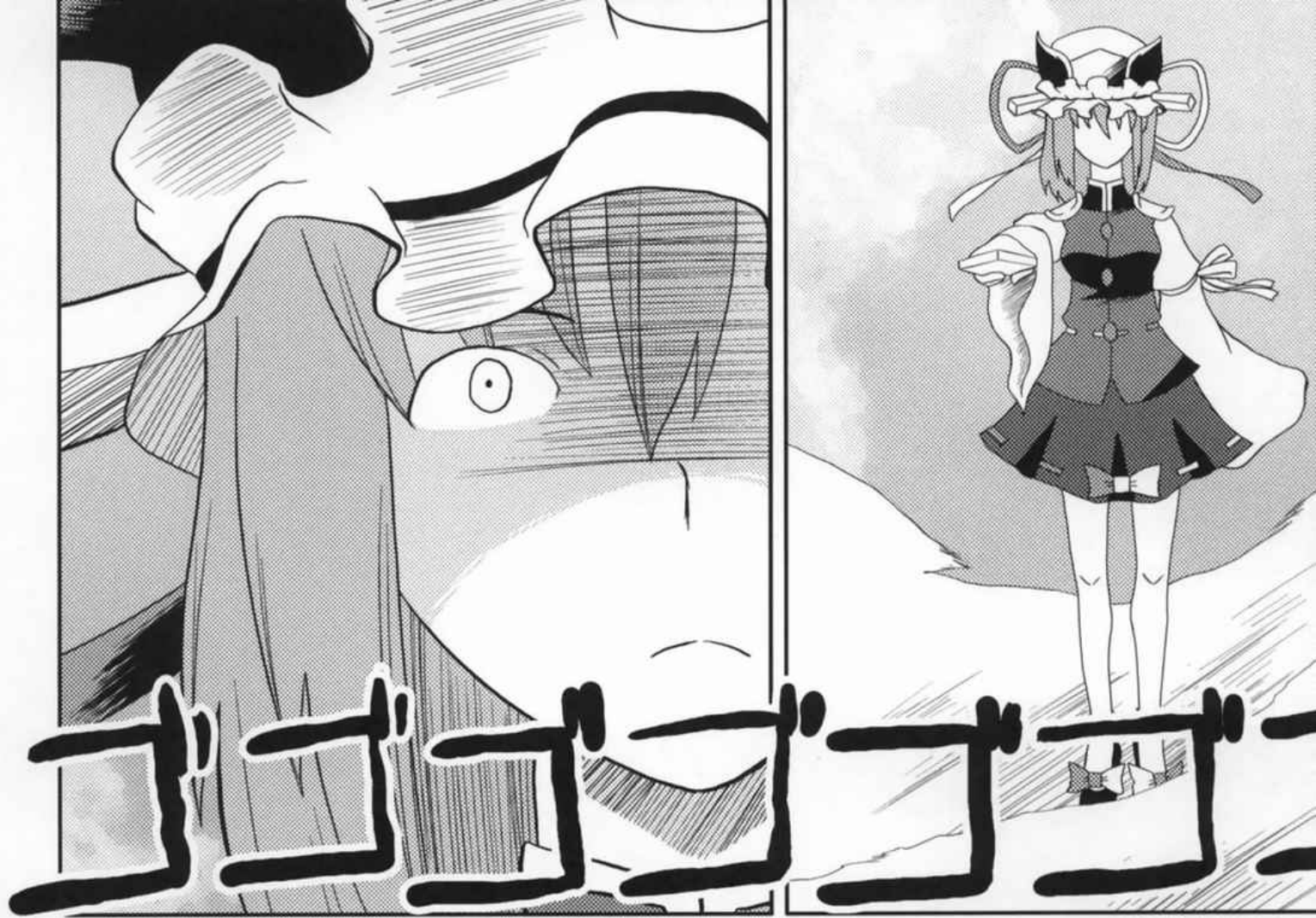
何か出て…

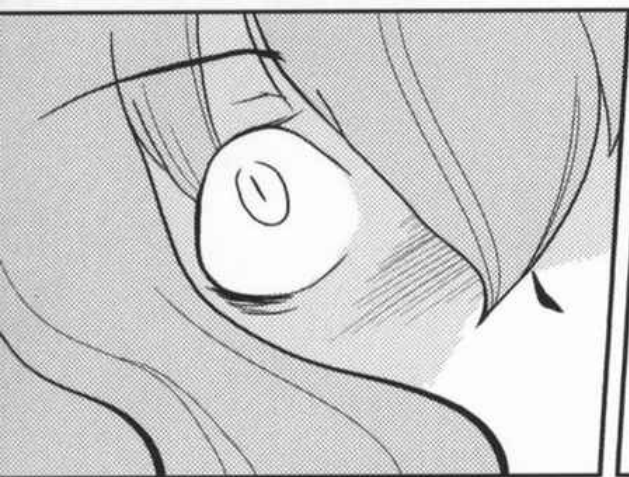
なんだ…これは…?



…?











強い？

違うよ





あたいらは  
「死」の世界の生き物さあ

故に死への恐怖も無ければ  
死へ誘う事なんざ

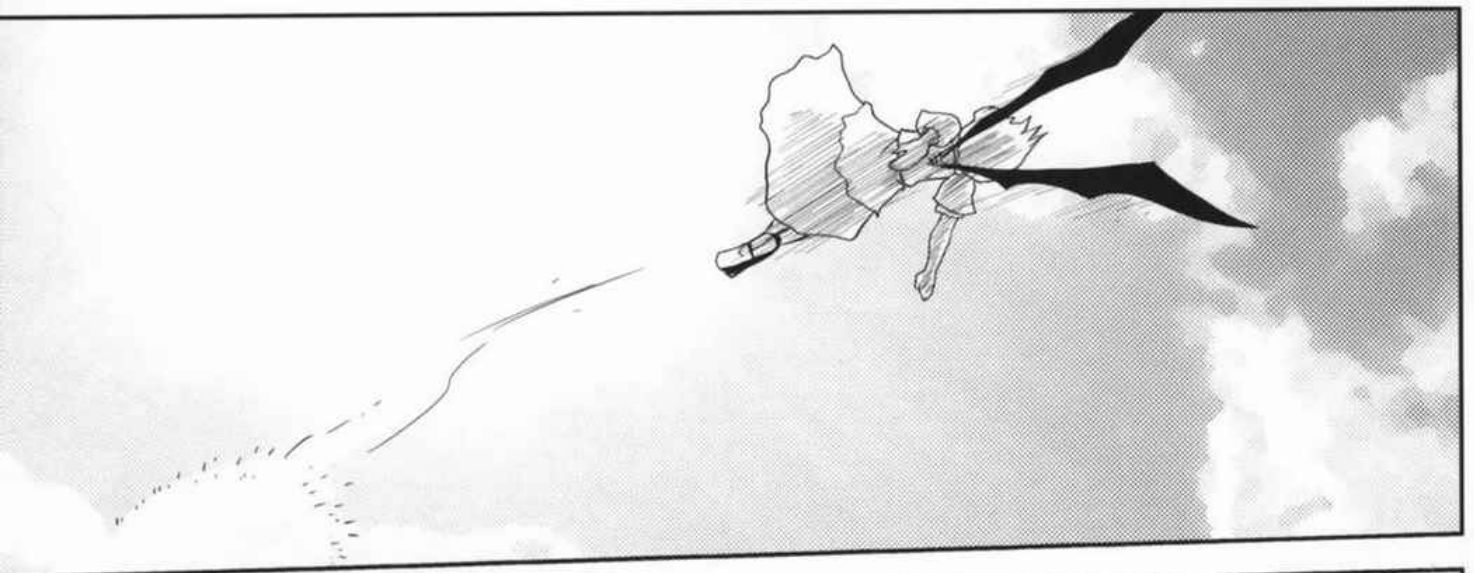
朝飯前、つてな

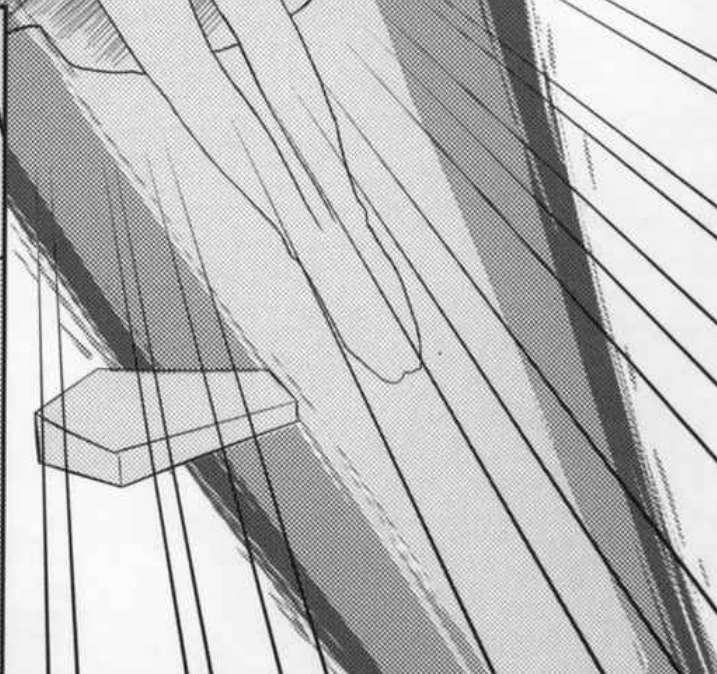
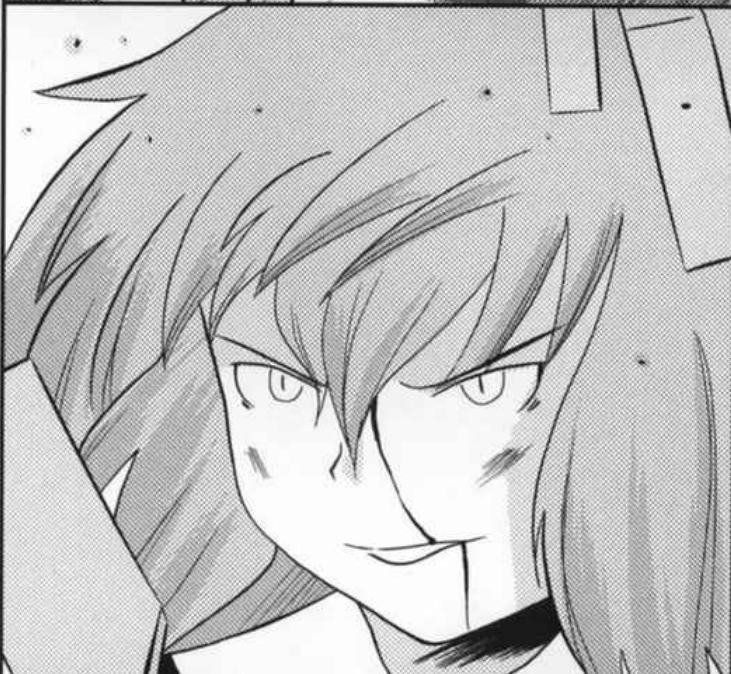
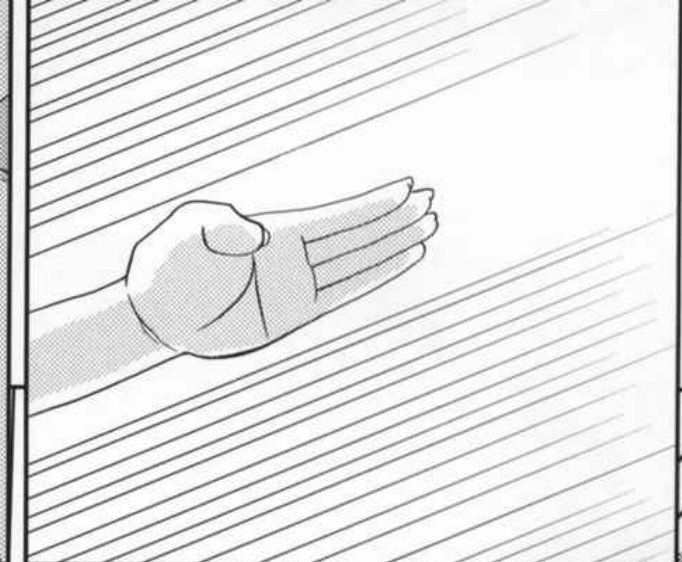
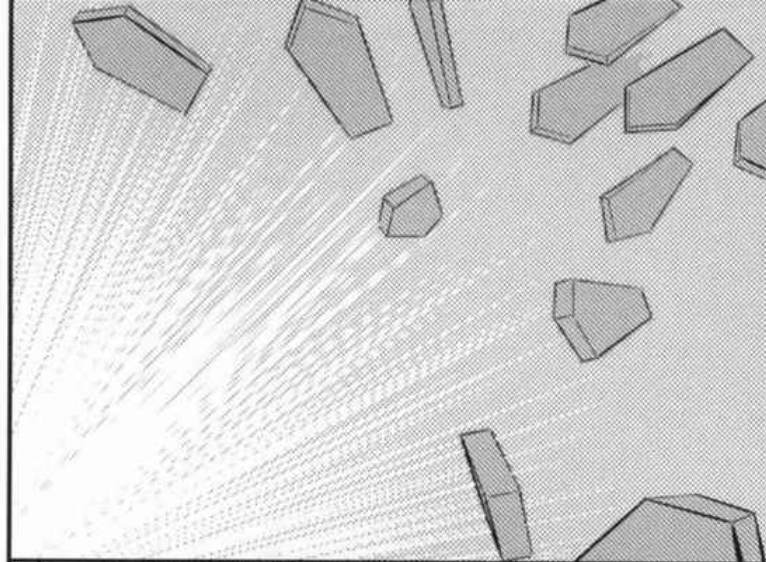
...

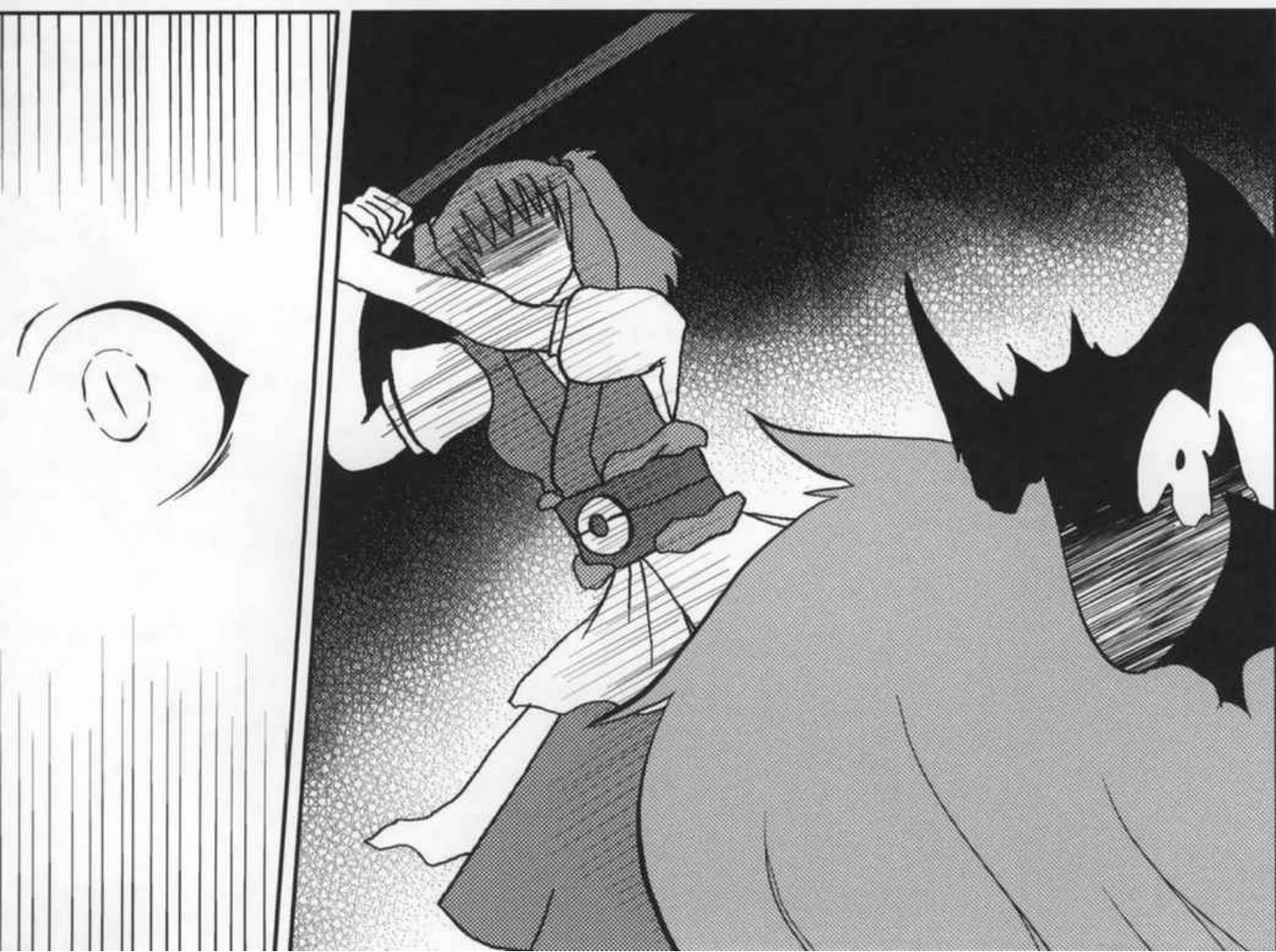
東方BR⑤

「嵐」







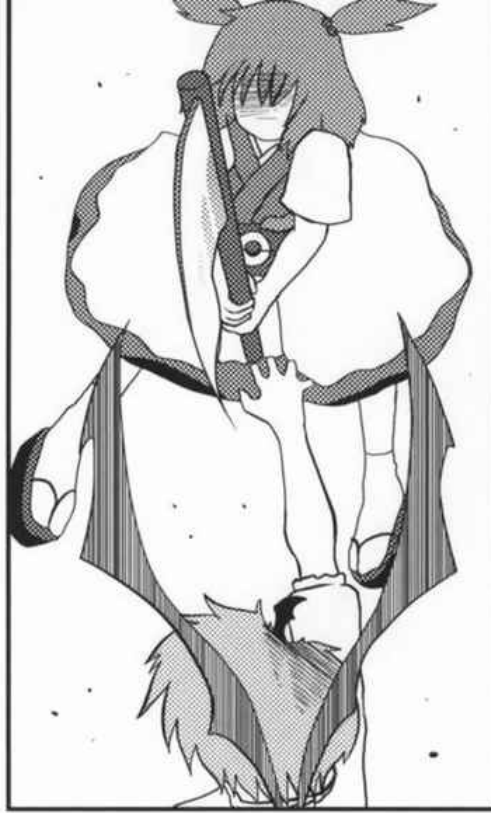


怯むな



突き出せ

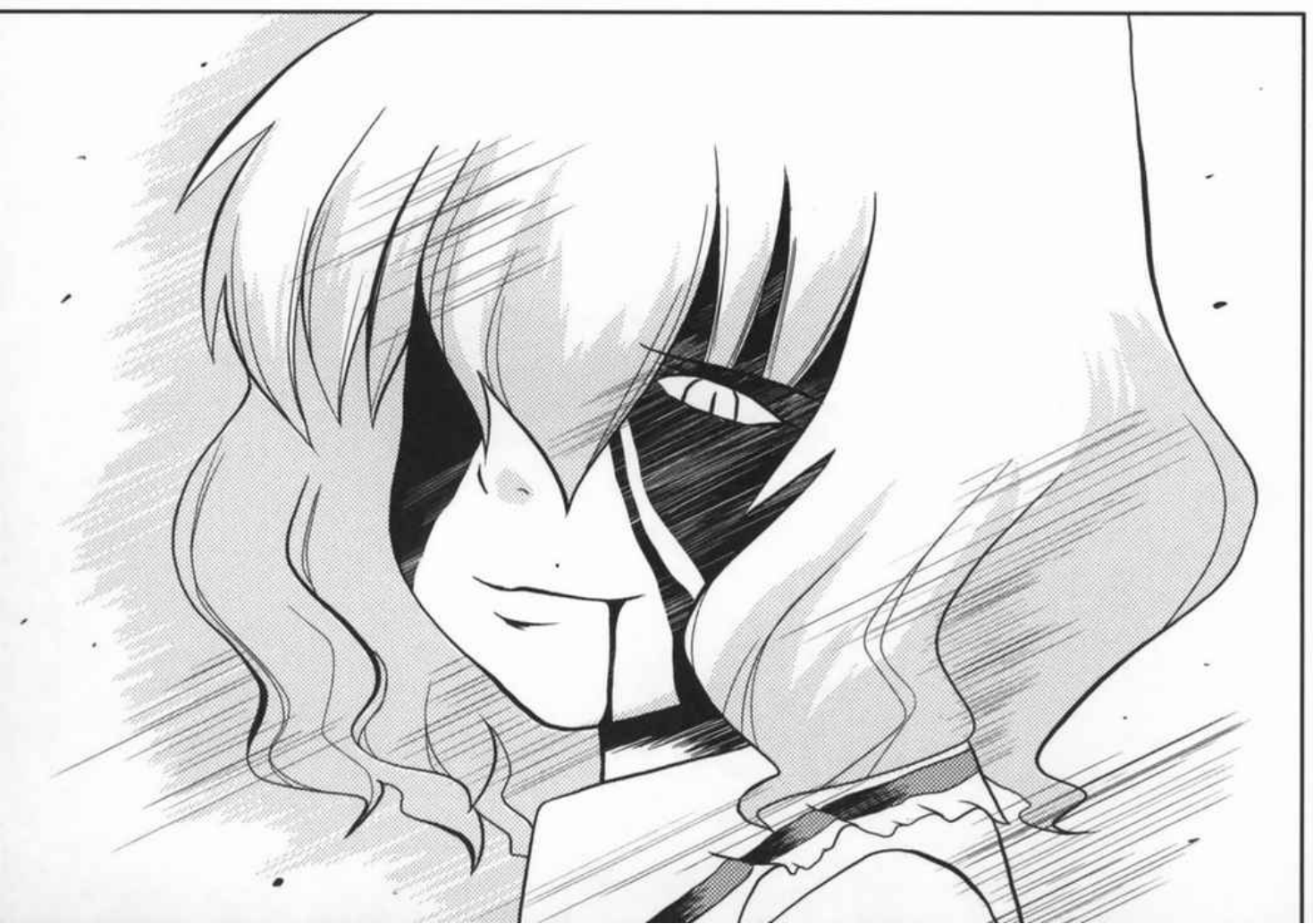






ド カ





お前はさつきみたいになんそこで見ればいい

分かったな？

…  
畏まりました

なるほど

自ら悪魔の戒めを解き  
覚悟を決めたのですね  
その満身創痍では最早  
楯突く事は叶わないという  
わけですか

ああん？

何寝言吹いてやがるッ

私にはまだ  
貴様を引き裂く爪もあるし

貴様を喰い破る  
牙だって残っている



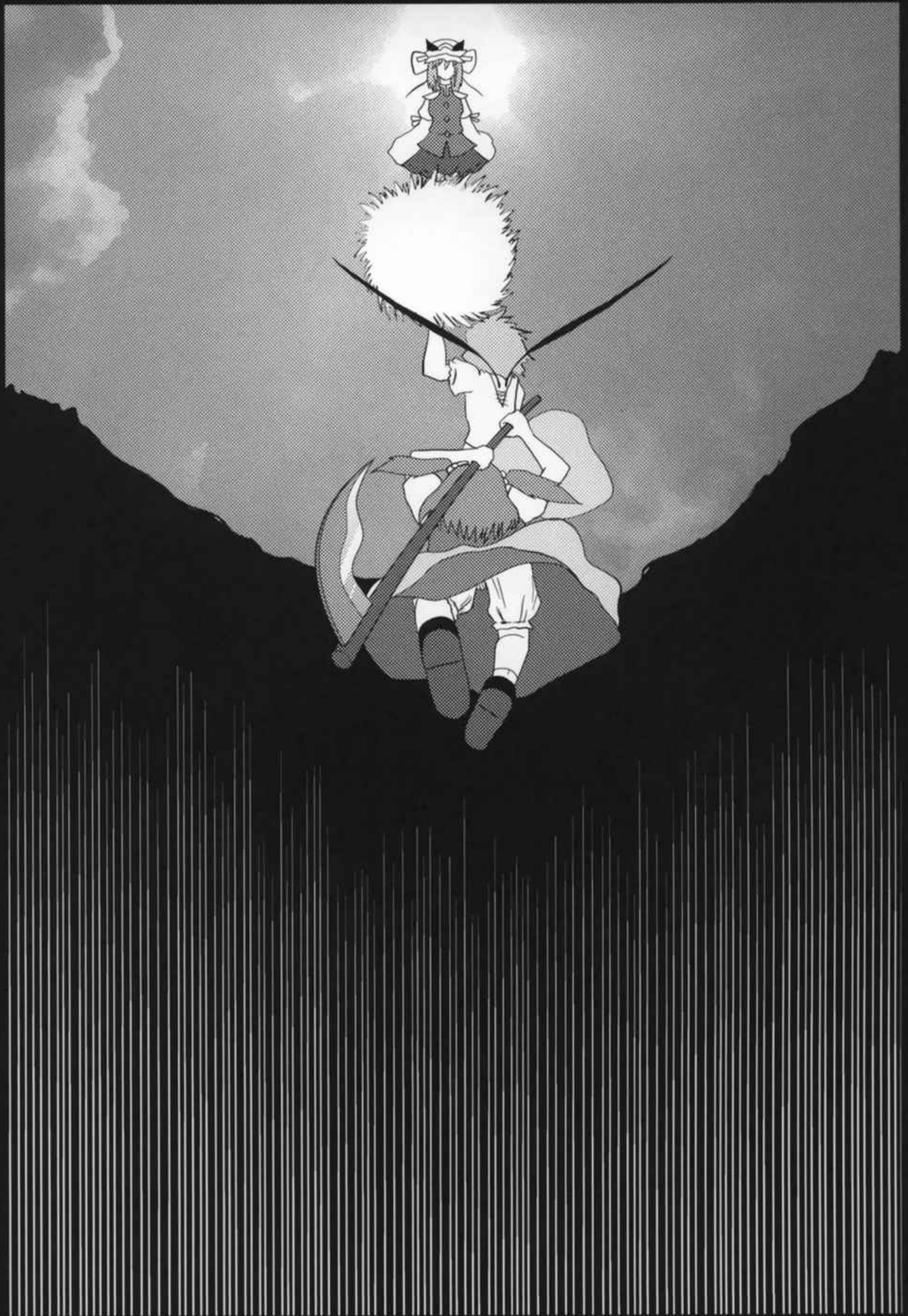
そうか  
全ての魔力をつぎ込んで  
賭けに出たか  
しかし

大きすぎる

あれだけの巨大な  
魔力の塊を投擲するには  
いささか溜めが長くかかる

ス

勝負を焦って自滅しましたね  
レミリアアリスカーレット









ナイフの一本も浴びせられたらと思いましたが  
どうやらこれが精一杯のようです

申し訳ございません

...

先程のご命令本当に  
嬉しかったです

咲夜の精神は

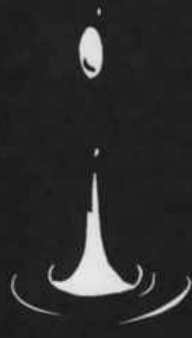
時の狭間に取り残され  
帰ってくることは無い

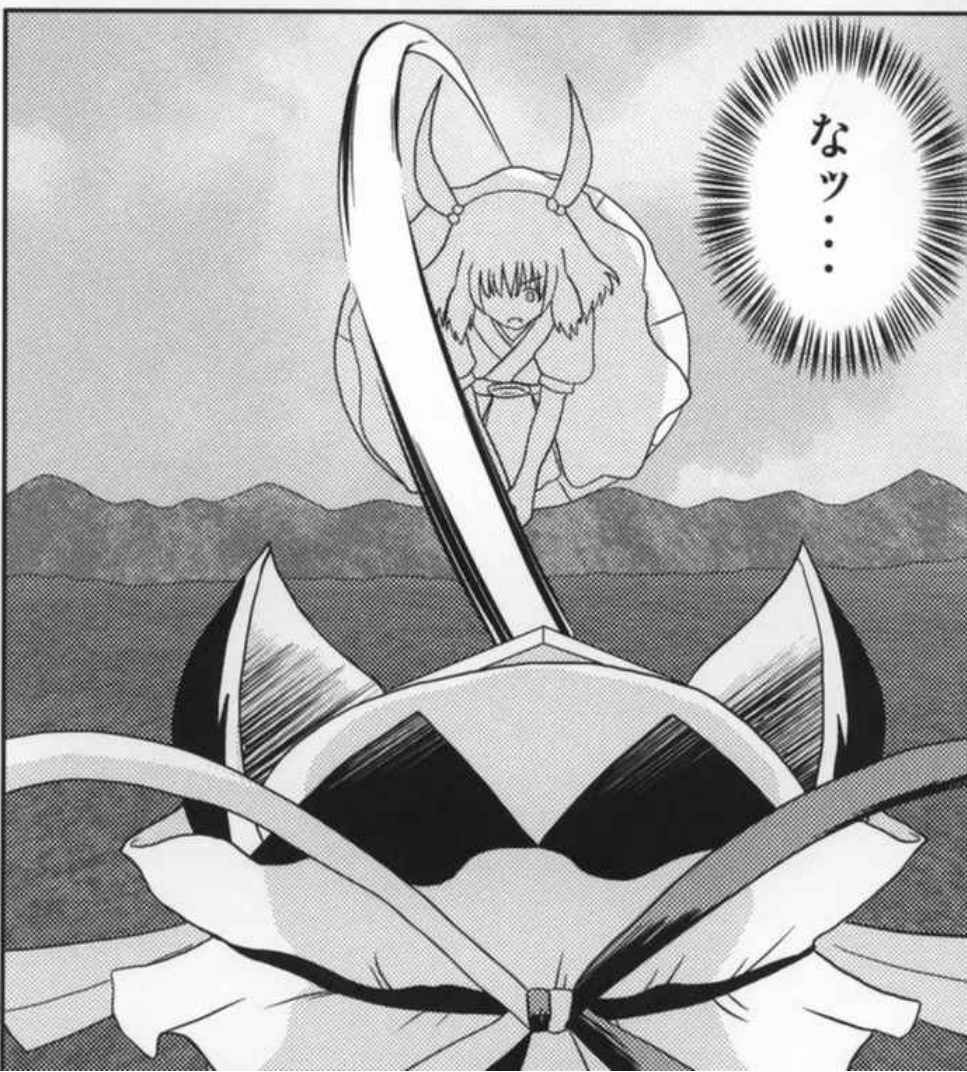
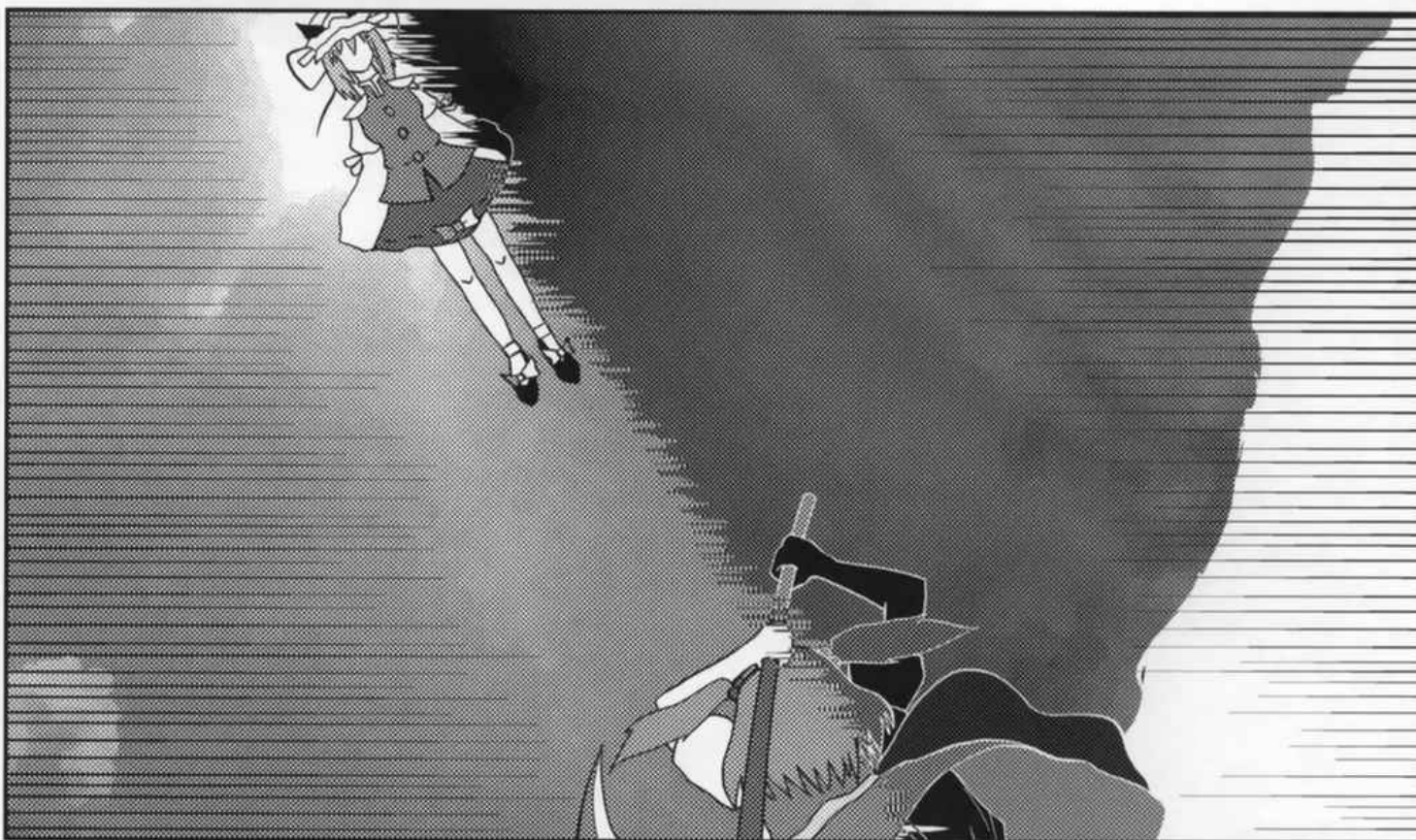
お前はさっきみたいに

お嬢様

嬉しくて嬉しくて...  
ずっと堪えてたんですよ？

—ご武運を





見事だ

咲夜ッ

おい小娘

先程  
「死ぬのが怖くない」  
とかほざいたよな...

ならば、ならばどうして  
さっきの私の突撃をかわした？

あの時かわさず  
たとえ相打ちでも身をよじらせず  
その鎌を振り下ろしていれば  
私を殺れていたッ！

しかし…貴様は身を守った…

つまりッ

「死ぬのが怖かった」んだよッ!

この偽モノがッ!

「力」とは

「死」から逃れる為の反発力が  
生み出す輝き!

「生」を奥底へと引きずり込む  
絶対なる闇!

輝きも闇も持たぬ者が  
「生きる者」を殺す

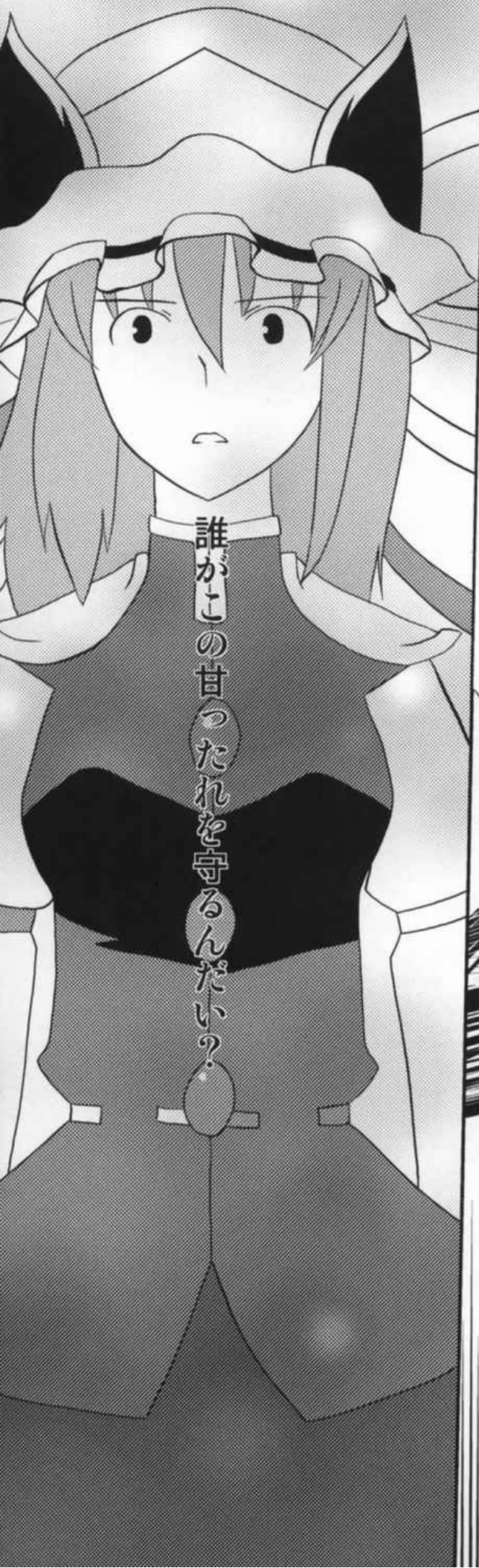
だと…?

舐めるなツ!!



そうだなあ  
何のかんの言っても  
死にたくないのかもねえ

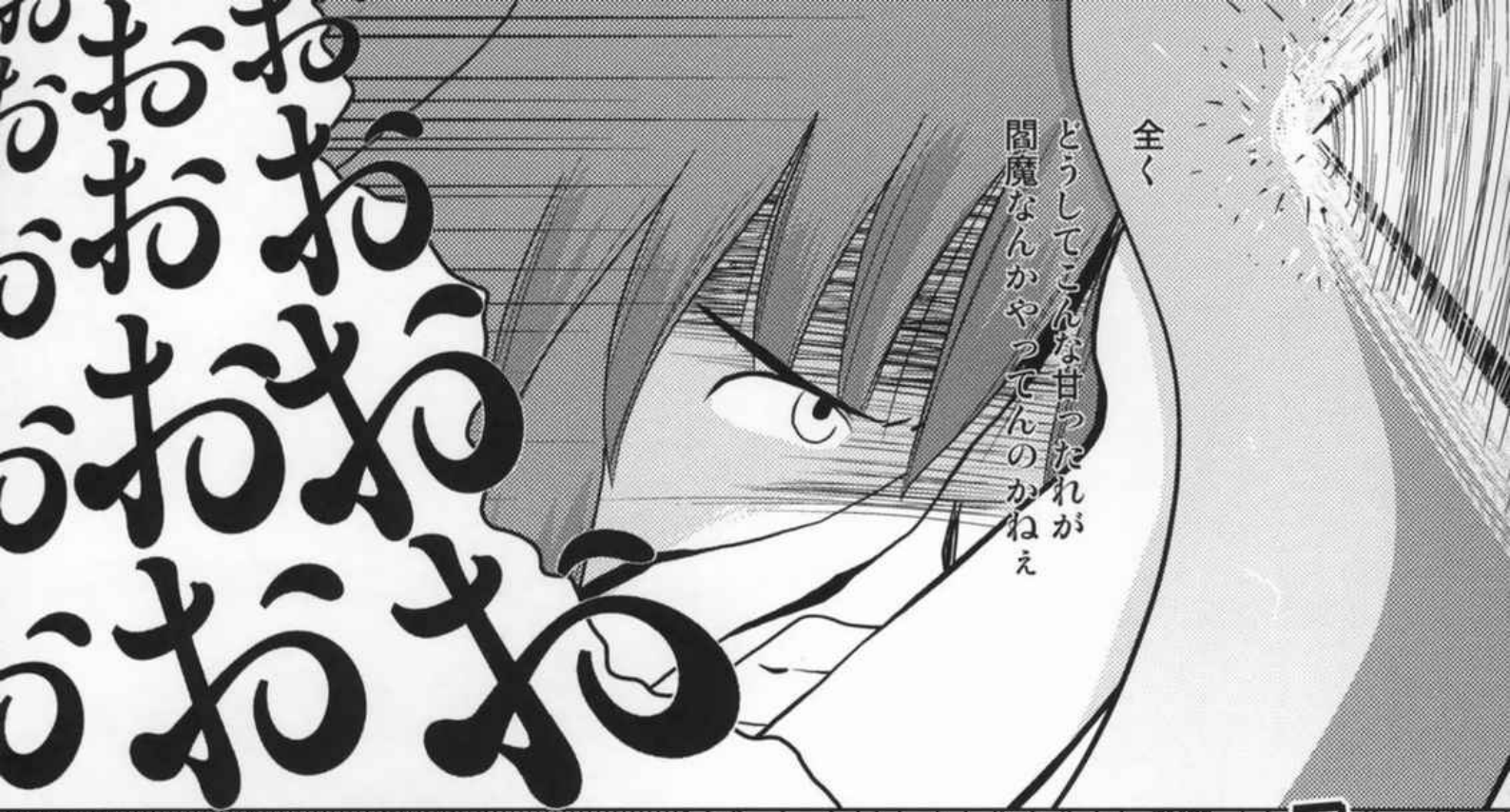
でもね  
まだあたいは死ぬわけには  
いかないんだ



誰がこの甘ったれを守るんだい？



今あたいが死んだら



全く

どうしてこんな甘ったれが  
閻魔なんかやつてんのかねえ

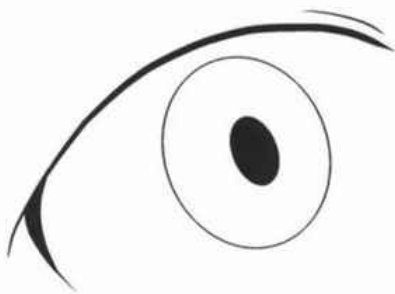


よし、来た

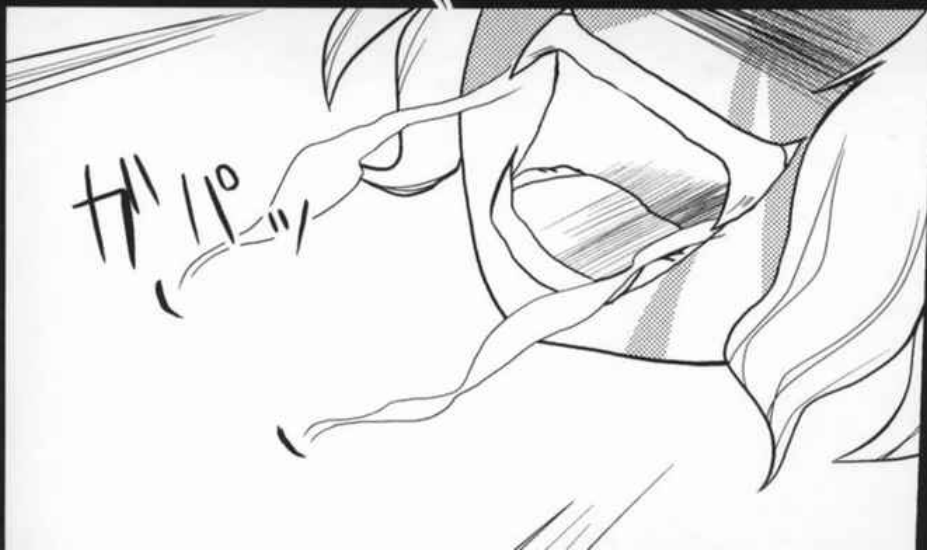
あいつはもう体力も魔力も尽きて  
動けないはず……



るあッ!!









どうだッ

言った通りだろう！



貴様らを喰い破る牙もある！

貴様らを引き裂く爪もある！

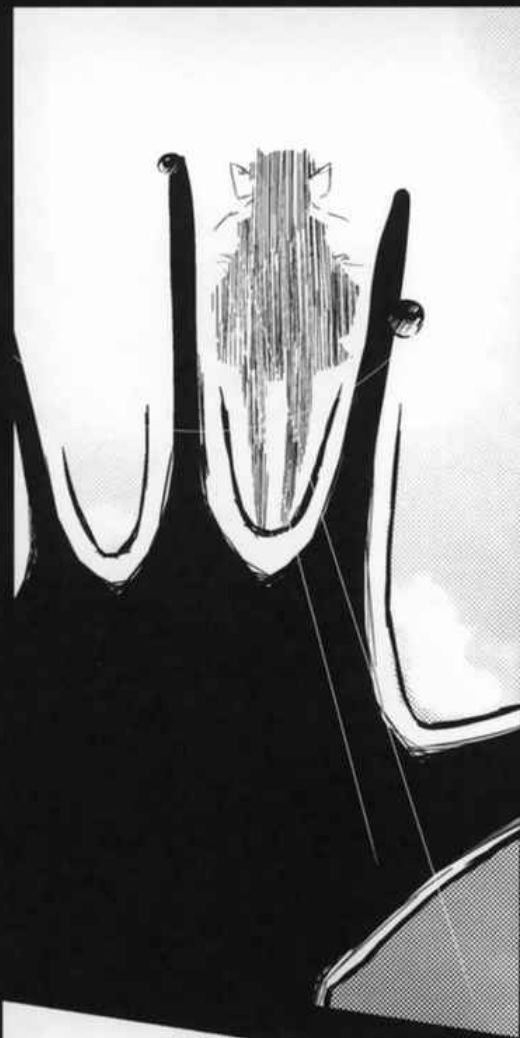


これがッ

これが「生きる者」の力だ！！







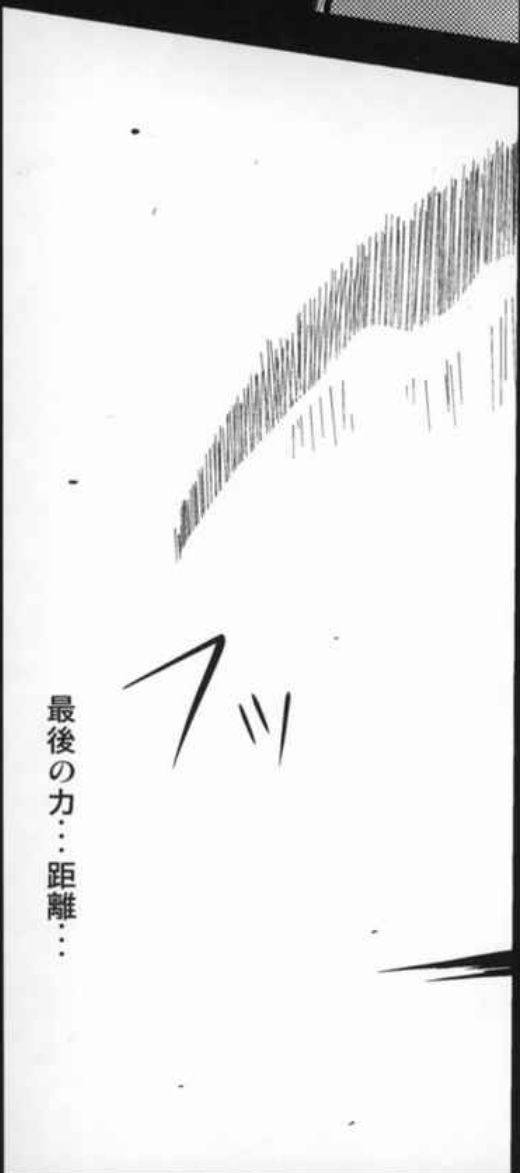
真っ白に...

ああ



フッ

もう指一本動かない



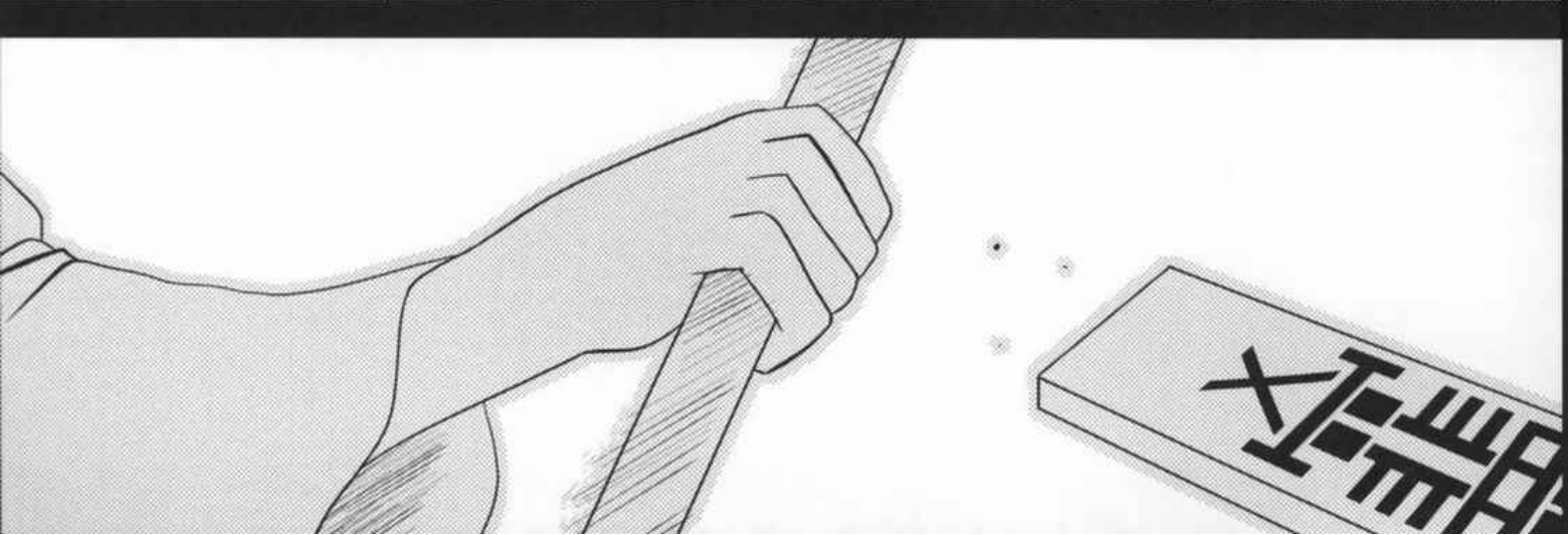
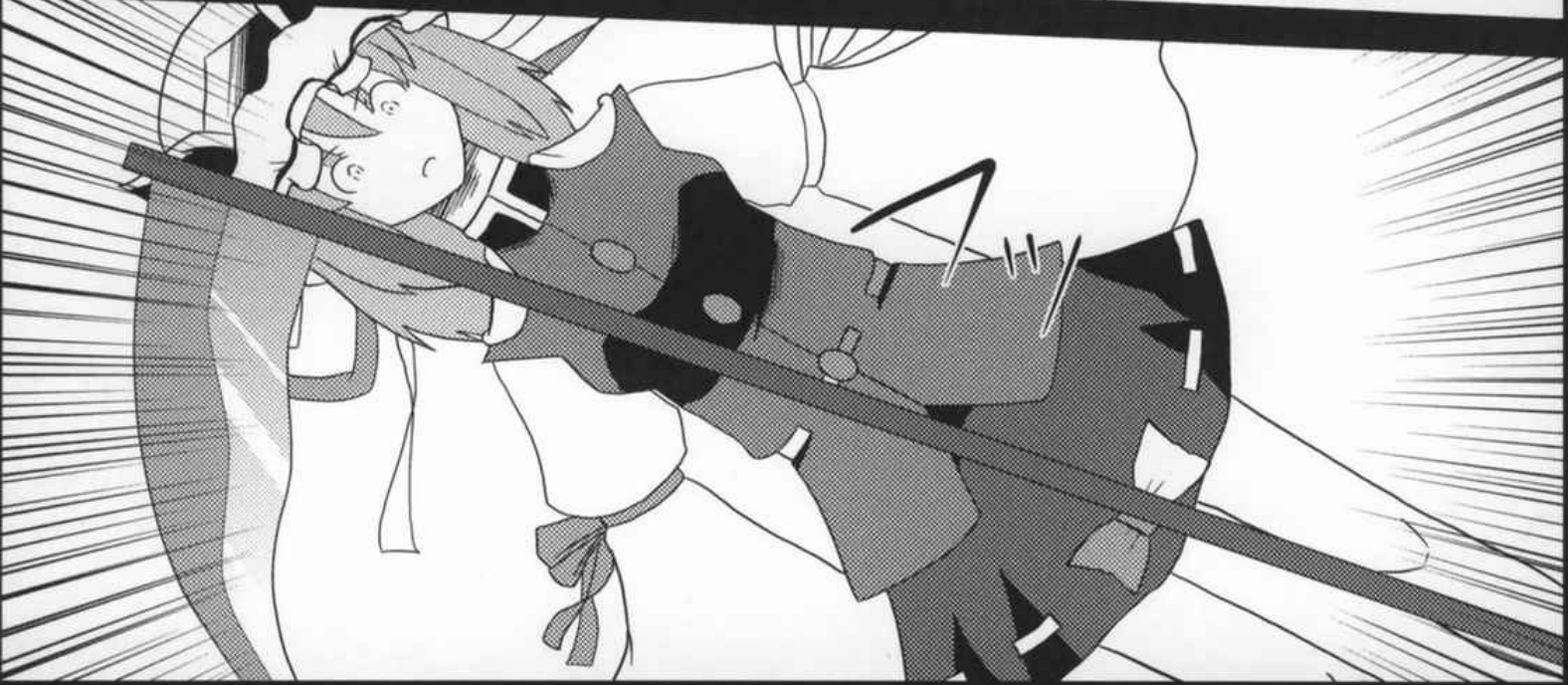
最後の力...距離...



でも...こいつだけは...



やられちまった...か...







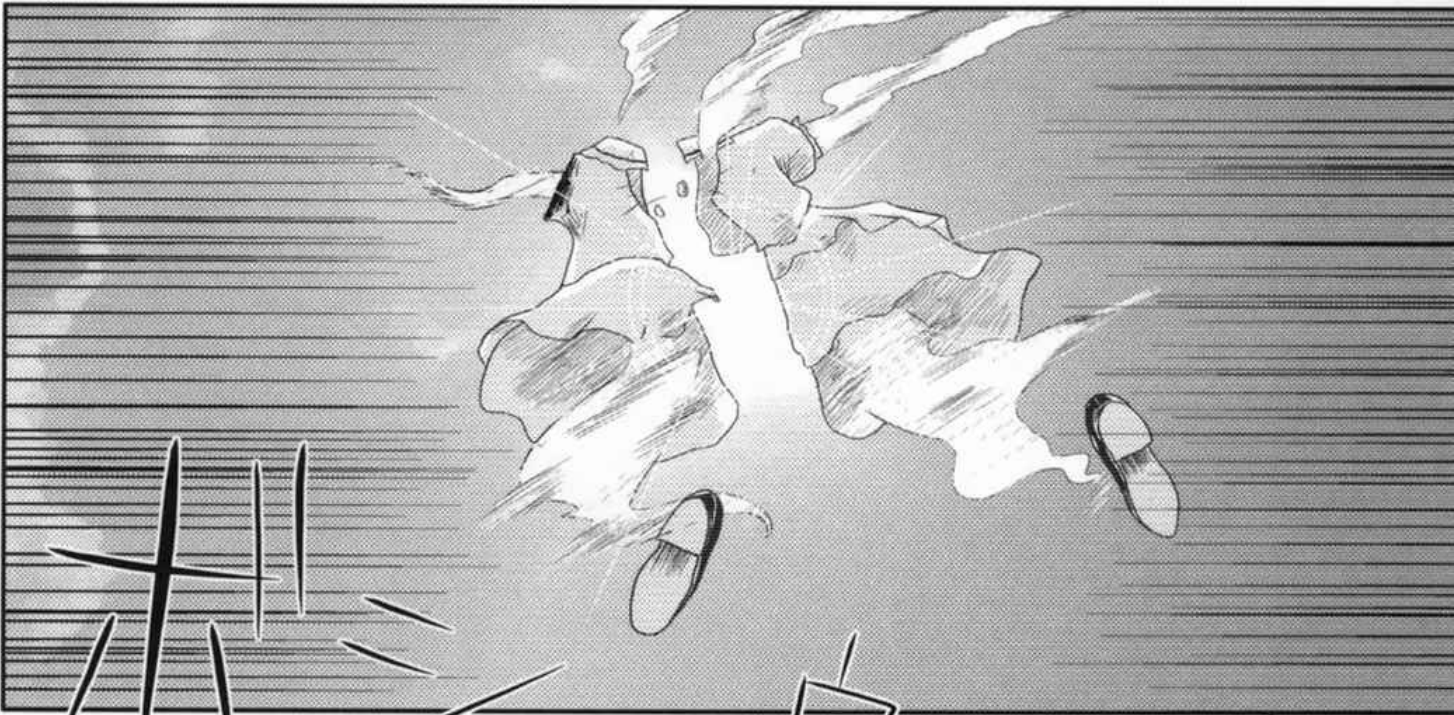




悪くない…



フフッ





小町

小町!

しっかりしなさい!  
死んではいけませんよ!

いやいや  
そりゃ無理ですってば

腹に穴開いてるんですよ?

ははっ



やつぱり

それにしても見事な  
鎌捌きでしたねえ

もしかして  
死神の経験でも  
おありですか?

馬鹿...  
何を言っているの...

かわいいなこの人

ねえ四季様

こんな顔見ながら  
逝けるんだったら

幻想郷が  
元通りになったら

また

あたいの事  
雇ってくださいね…

結構いいもん  
かもねえ…

おおお

うっ

小町



何故だ

何故



間違っていたのか…？

私が



私が…





どうして

どうして貴女は  
そんなに晴れやかな表情をするッ



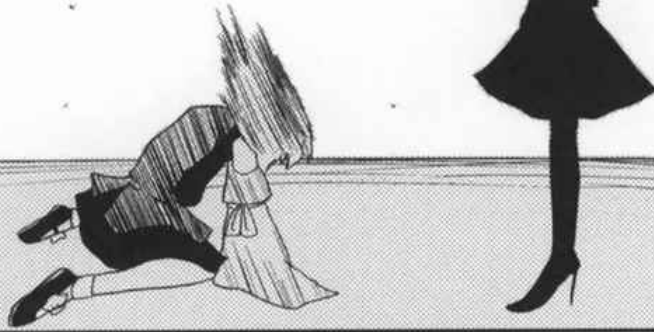
何故…



間違っていたのですか  
十六夜 咲夜

何も言わない!

何故ッ



ゴゴゴゴ...



ポッ

アアアア...

アハハッ



それとも

悪魔に魂まで  
捧げてしまったのかしら



喋らないという事は

よほどやましい事があるからなのか



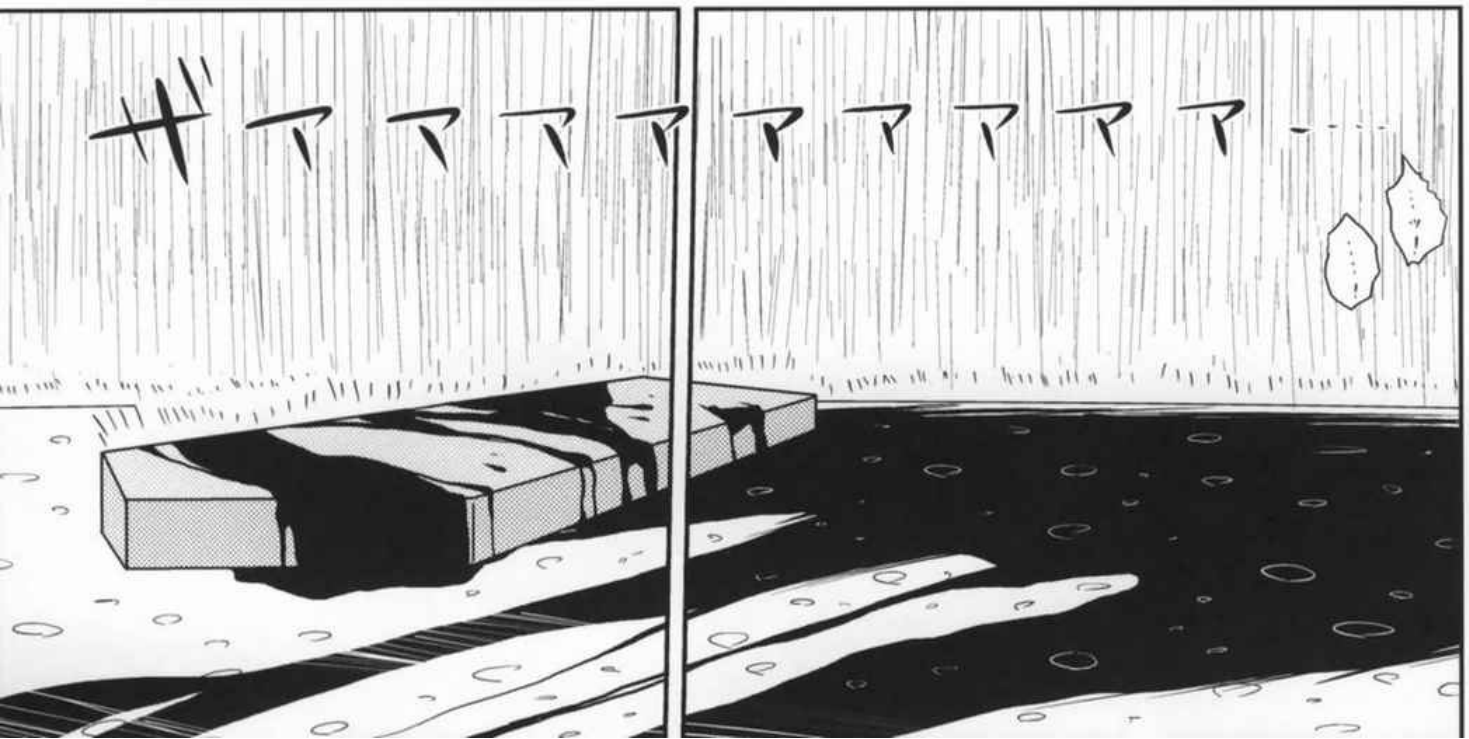
いずれにしろ



有罪!!

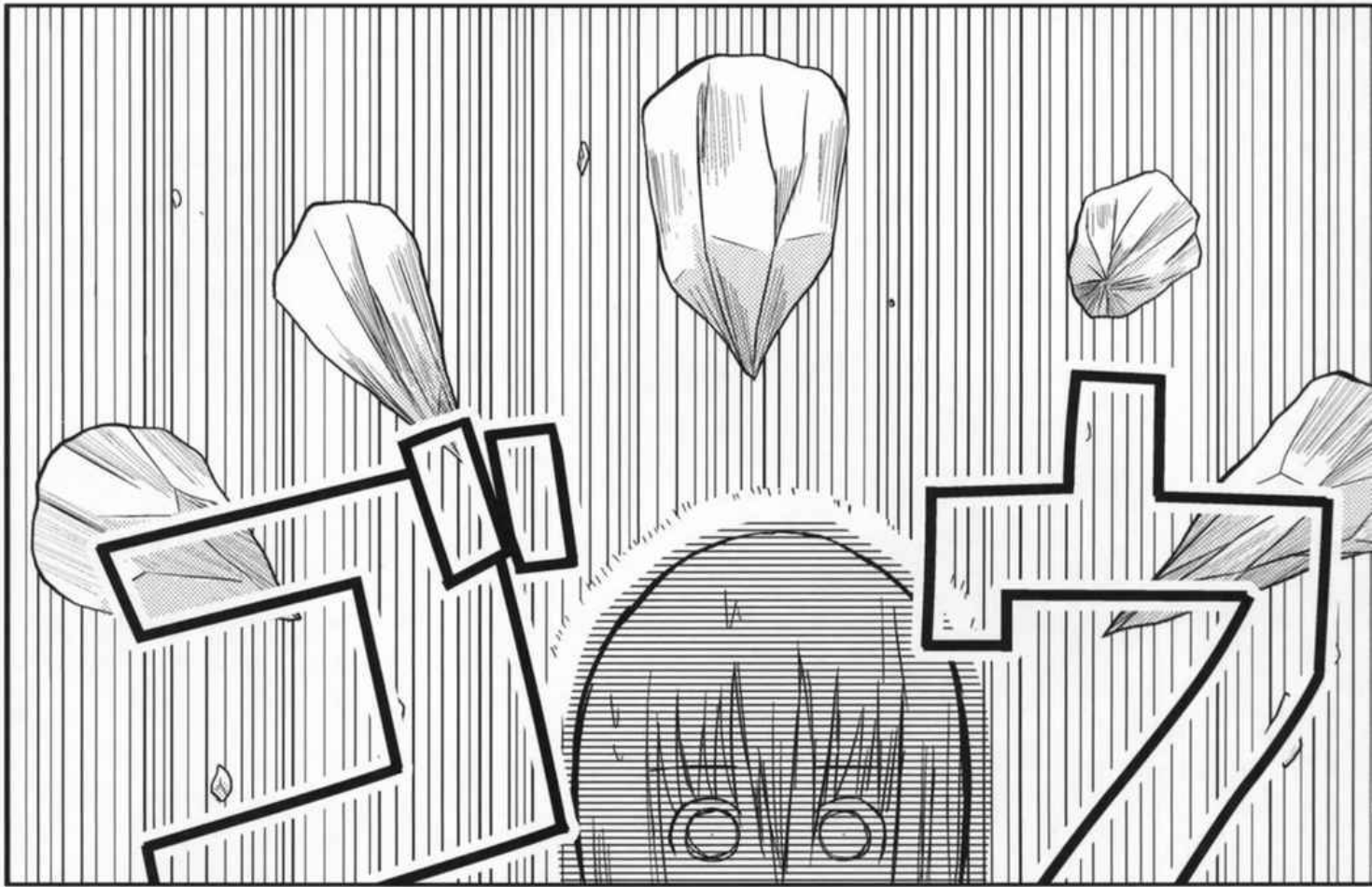


有罪ツ!!





Dog days







仇討ちなんて  
真似じゃあないけれど

スッ



酷い...



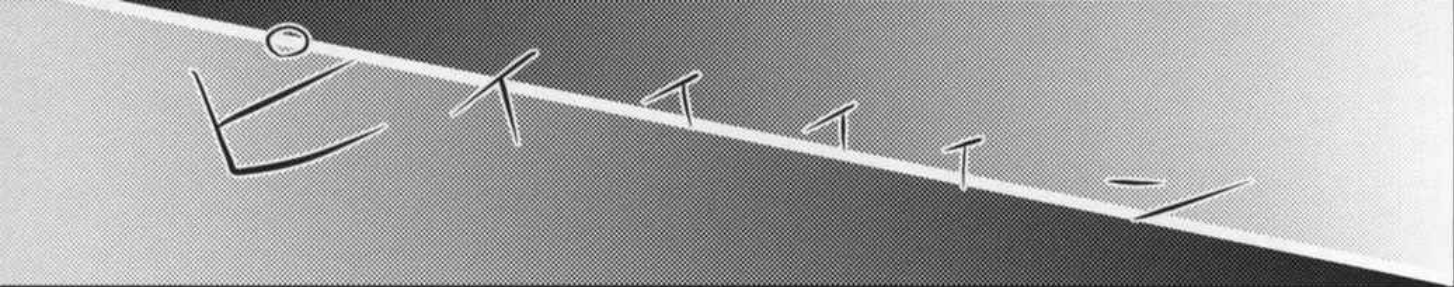
フィン

何の体裁を取り繕おうとも  
所詮貴様等は悪!



灼けなさい

日符 ロイヤルフレア



消えた…雨で…？  
いや違う、これは…



あははははは

その「日符」に白黒をつけたッ

そのカードはもう使えないッ

さあ次は何だ!?

月か火か水か木か金か土か!!?  
そんなカード如き幾らでも封じてるぞ!!

もう無いわ

…は?

今のが最後のカード

『石』も置いてきてしまった

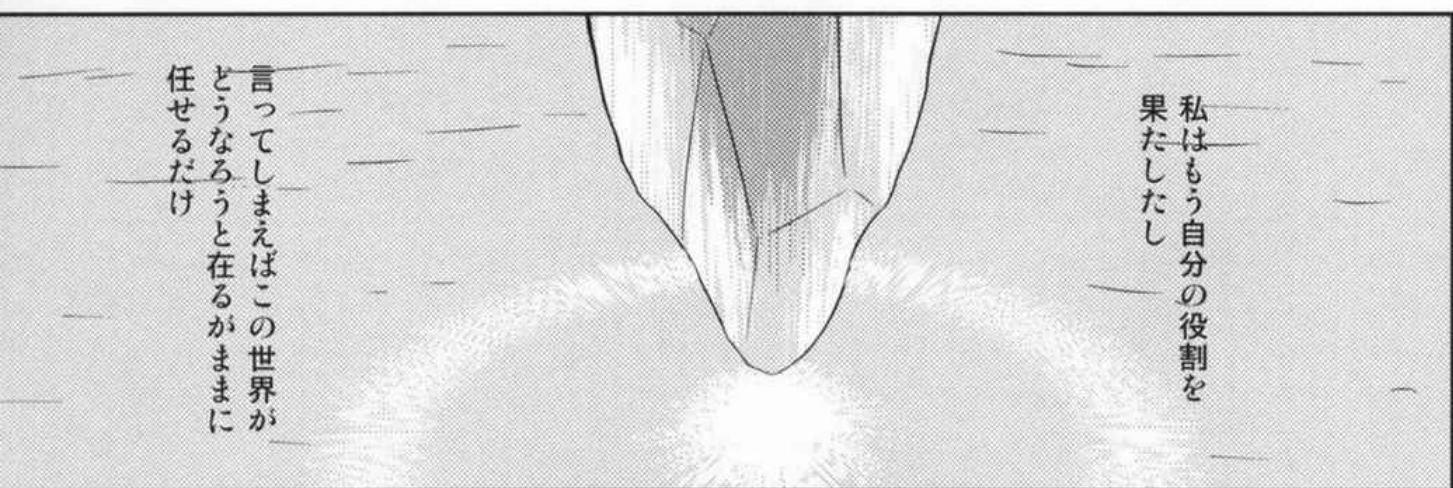
馬鹿か?

媒体を持たない魔女が  
魔法を発揮できるわけが無い

死にに來たのかお前は?



そうよ



私はもう自分の役割を  
果たしたし

言ってしまったえばこの世界が  
どうなるかと在るがままに  
任せるだけ



でも

交わした約束くらいは  
守りたい



あなたは一体何をそんなに  
揺らがせているの

死神が死んであなたは生きている  
そこから見つけ出さなきゃいけない  
ものはこんなものじゃないでしょう？



悪魔がッ

悪魔が小町のことを  
言うんじゃない!!

お前達が…  
お前達が殺したんじゃないか!!

止めろと言ったのに

誰も彼も耳を貸さずに

あの子も一緒になって

殺して

殺されて

それでもまだ私に  
閻魔という役割を  
求めるのならば

ス





それは  
お断りね

あんなに恥ずかしいもの  
何度も見たくないわ



winter



裁き殺してやるツ!!

この浄玻璃鏡じょうはりでお前の  
過去を暴き映して



浄玻璃鏡の投影を  
遮りたいだけで

パチュリーはそこまで  
計算していたわけではなかったが

豪雨によって高まっていた  
水属性が彼女の放った  
ウィンターエレメントの密度を高めー

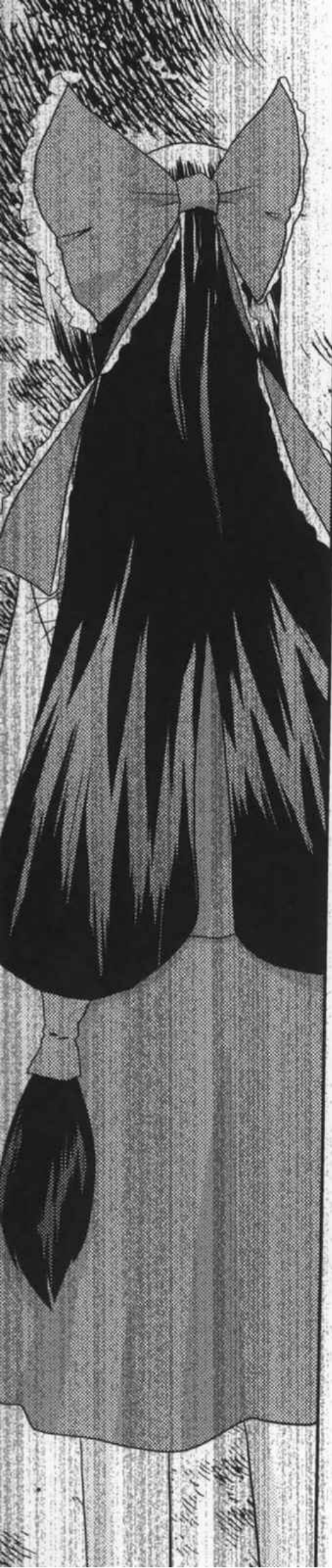
それは水鏡みづがみとなって  
浄玻璃鏡の映写を反射させた

本来あるはずがない  
イレギュラー

浄玻璃鏡の自己投影により  
浮かび上がる  
『四季映姫自身の過去』

そこには思い出してはならぬ  
秘密が秘められていた！



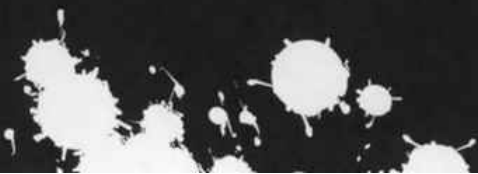
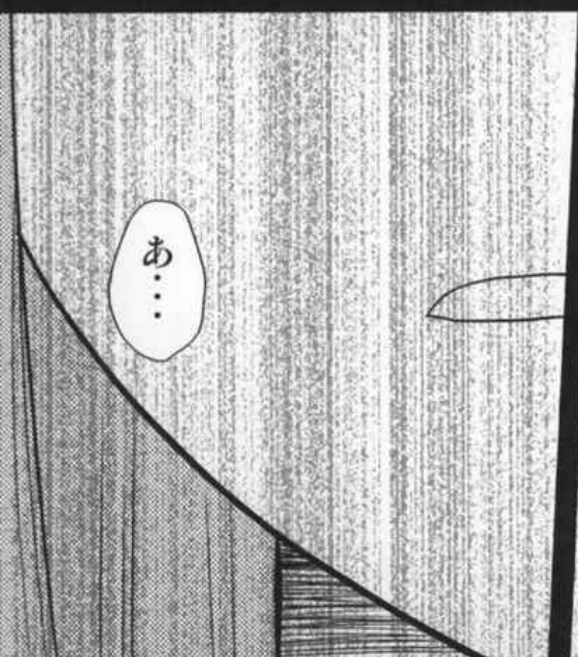
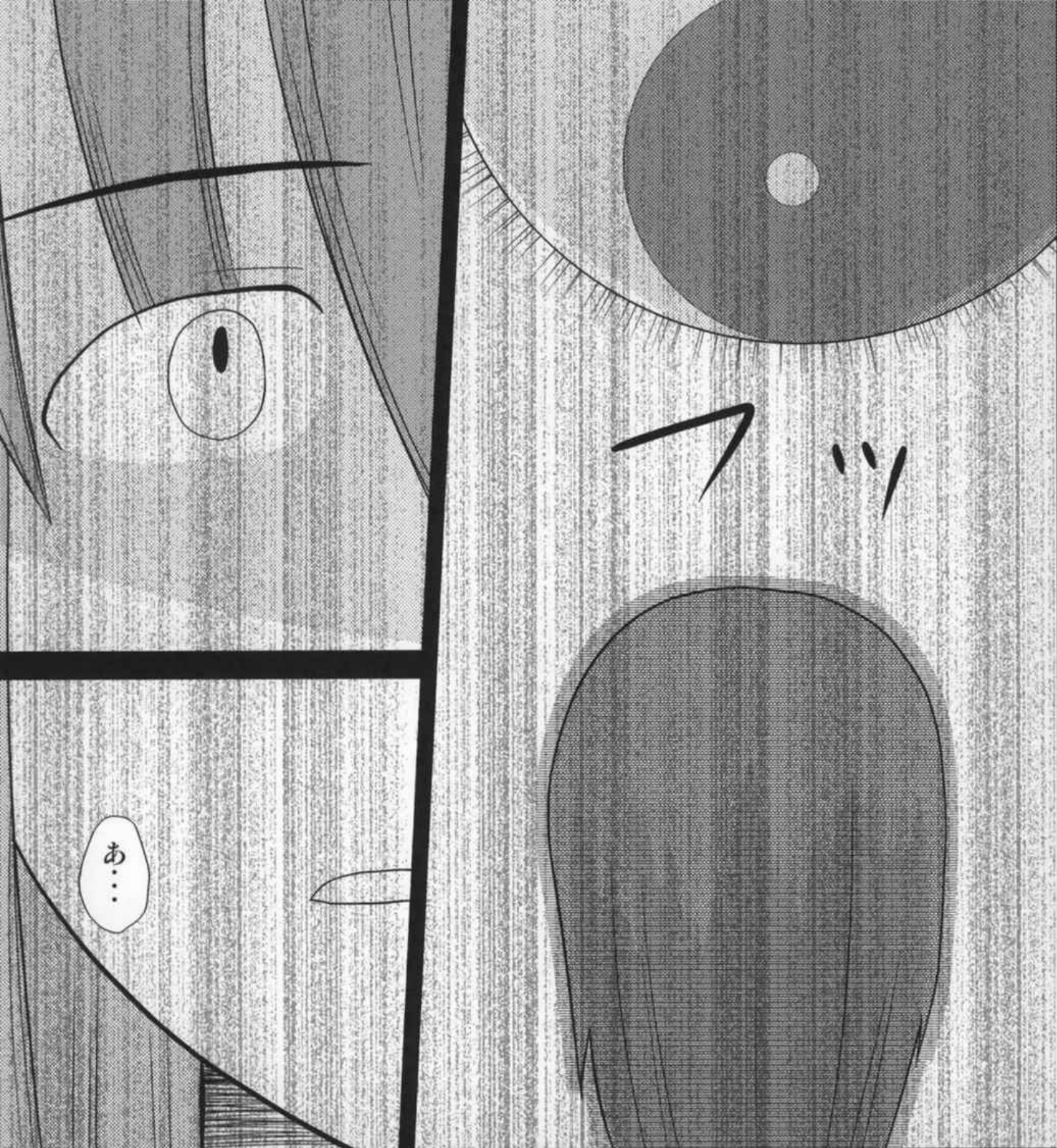


ゴオオオオ



オオオオオ オオオオオ







これは…

まさか…

六十年前の……？



# 次回完結

# 東方BR⑥「光」

ありがとう

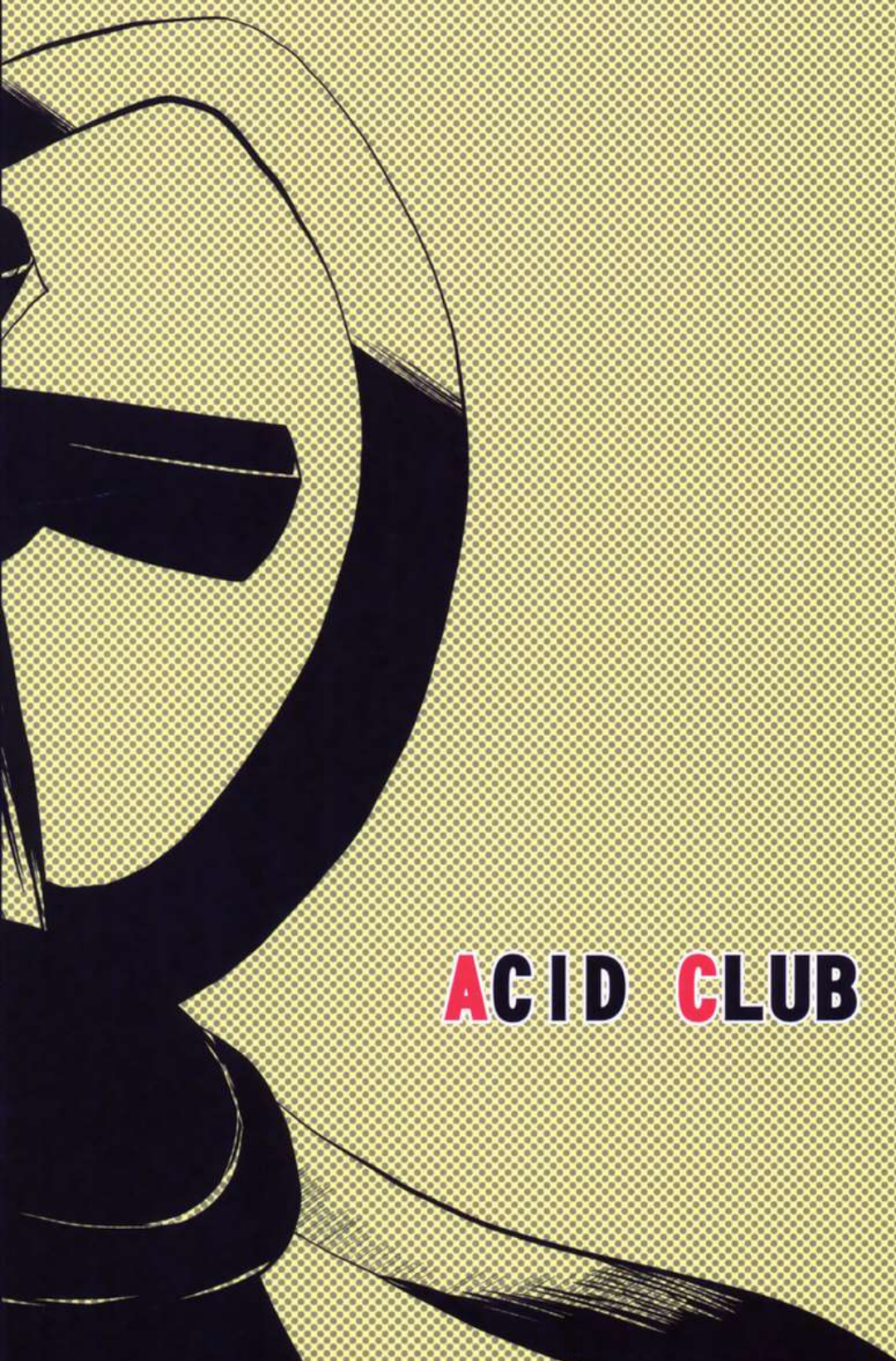
## 奥付

発行者: nagare(ACID CLUB EAST)

印刷: アクシス出版

HP: <http://acidclub.sakura.ne.jp/>

連絡先: [nagarekei@y5.dion.ne.jp](mailto:nagarekei@y5.dion.ne.jp)



**ACID CLUB EAST**